

会 議 録

会議の名称		令和 7 年度第 2 回つくば市図書館協議会			
開催日時		令和 7 年（2025 年） 8 月 19 日 開会 10:00 閉会 12:00			
開催場所		つくば市立中央図書館 2 階集会室			
事務局（担当課）		教育局 中央図書館			
出席者	委員	坪文雄委員（会長）、鷺田美加委員、鈴木もえみ委員、宇川百合江委員、呑海沙織委員、丹間康仁委員、鐵見咲希委員、伊藤佳子委員、杉本まき子委員、松尾みずほ委員、増田真智子委員、渡邊聡委員			
	事務局	柴原徹館長、玉木正徳副館長、大口勝也副館長、中川憲二館長補佐、川田美紀係長、細田麻美係長、木村未和主査、村松ななみ主事			
公開・非公開の別		■公開 □非公開 □一部公開		傍聴者数	0 名
非公開の場合はその理由					
議題		蔵書点検報告 令和 6 年度図書館運営上の指標に対する実績評価 令和 6 年度図書館利用者満足度調査結果報告 新図書館整備検討に関する簡易アンケート調査結果報告 先進事例視察報告 その他			
会議録署名人		杉本委員、松尾委員		確定年月日	令和 7 年 9 月 18 日
会議次第	1 開会 2 新任委員紹介 3 会長挨拶 4 議事 5 閉会				

<審議内容>

1 開会

○事務局：皆様、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今から令和7年度第2回つくば市図書館協議会を開催いたします。会議時間は約2時間を予定しております。本日の進行を務めさせていただきます、中央図書館、館長補佐の中川と申します。よろしくお願いいたします。

本日の会議ですが、委員13名のうち、出席者が12名、欠席者1名のため、出席者数が委員の過半数に出しておりますので、つくば市立図書館条例施行規則第26条第2項の規定により、会議が成立しておりますことを御報告させていただきます。

また、本日の会議は公開となっております。今のところ傍聴の方はいらっしゃいませんが、御承知いただきたいと思います。会議の内容につきましては、会議資料と議事録を合わせて、後日公開させていただきます。議事録作成のため録音させていただきますので、御承知おきください。

また、議事録を作成するにあたり、議事録署名人として杉本委員、松尾委員を選任させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔委員了承〕

○事務局：ありがとうございます。

2 新任委員紹介

○事務局：続きまして、今年度から新たに2名の方が協議会の委員になられましたので、御紹介させていただきます。これまで学校教育関係者として、つくば市教育研究会国語部会長及び学校図書館研究部会長を委員に選出し

ております。今年度人事異動により、井上委員、大越委員、両委員の任を解きまして、新たに春日学園義務教育学校長、増田真智子様、並木中学校長、渡邊聡様の2名を令和7年5月1日付けで委員に選出させていただいたところですが、任期につきましては、前任者の残任期間であります令和8年6月30日までとなります。それでは、お2人から御挨拶を頂戴したいと思います。

〔委員挨拶〕

3 会長挨拶

○事務局：ありがとうございました。続きまして、当協議会会長から御挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

〔会長挨拶〕

○事務局：ありがとうございます。申し遅れましたが、本日オンラインで参加されている委員がいらっしゃいます。よろしくお願いします。

4 議事

○事務局：それでは議事に移りたいと思います。議事進行につきましては、つくば市立図書館条例施行規則第26条1号の規定によりまして、会長にお願いしたいと思います。

○会長：はい、では議事1から始めましょう。蔵書点検報告について、事務局から説明をお願いいたします。

〔議事1〕

○事務局：令和7年度中央図書館蔵書点検の報告をいたします。実施期間としましては、今年の6月10日から13日まで行いました。3番の蔵書点検結

果をご覧ください。不明資料の点数は、令和6年6月4日から令和7年6月13日までの間に不明となった資料点数です。中央図書館と自動車図書館を合わせた総数が529点、所蔵数30万2,793点なので、不明率としては0.16%となりました。中央図書館で不明になってしまった資料は484点、不明率0.17%、自動車図書館が45点で、不明率0.11%となりました。

データ抽出の都合上、不明資料点数には貸出処理が漏れてしまった資料や、意図的に持ち去られた資料の数が含まれます。これらの資料が返却された場合には、自動的に不明資料ではなくなるため、点検から日数が経過するに従って、徐々に不明点数は減少していくものと思われます。例年、蔵書点検に伴う長期休館の前には特別貸出期間を設定しており、通常より貸出期間を長く設けております。今回の不明資料点数の集計は、7月上旬時点で行っております。長期休館前に貸し出された資料は、貸出処理が漏れてしまった資料を含め、通常ですと返却されている状態だと思われます。

4番、過年度との比較を図1に示しますのでご覧ください。不明資料点数は、令和3年度をピークに減少を続けておりましたが、昨年度は少々増加し、今年度も増加しております。次に、資料区分ごとの不明資料点数の増減について御説明します。別紙2より、前回点検時と比較して、特に不明率が増加しているのが外国語の絵本、外国語児童図書及び市政資料です。外国語絵本が0.17ポイント、外国語児童図書が0.15ポイント、市政資料が0.14ポイント増加しました。

5番、不明本の対策について、不明となる資料が開架されている資料に多かった点を踏まえると、不明資料の多くは利用者による持ち去りによるものと考えられます。当館では、持ち去りが多いと思われるジャンル及びシリーズの資料を書庫で保管したり、人気の高い文庫やコミックなどの資料を職員の目につきやすいカウンターの前に配置したりしております。人気のある雑誌の最新号もカウンター内で保管するなどの対策をとっており

ます。持ち去りを少なくするため解決策としては、IC タグ及び BDS の導入が挙げられますが、すぐに運用できるものではなく、費用や既存システムへの影響などについて検討する必要があります。その他の対策として、館内に防犯ミラーや防犯カメラを設置する方法が考えられます。ミラーやカメラの設置により、館内の死角を減少させることで、持ち去りに対する抑止効果が期待できます。また、自動車図書館車内及び書庫に関しても、リサイクル事業などを活用して適宜資料の入替を行い、保管場所の確保や、所在管理を徹底してまいります。御報告は以上になります。

○会長：はい。では、委員から質問や意見がありましたらお願いします。

○委員：質問させていただきます。参考図書が不明になるということですが、これは貸出禁止のものですか。

○事務局：はい、貸出禁止のものです。レファレンスコーナーに置いてあるものです。

○委員：分かりました。ありがとうございます。

○委員：はい、不明点数が増加しているのが外国語絵本と外国語児童図書というのがちょっと気になるんですけれども、資料を貸し出す際に、具体的な対策として、文字で「カウンターで何々してね」と表示するなどの対策はされているのでしょうか。分からないで持ち帰るということはないと思うんですけれども、何かそういったことは具体的にされていますか？ 今、「書庫で保管」と「カウンターの前に配置」とはあるんですけれども、その点はいかがでしょうか。

○会長：はい、事務局の方で何かありますか。

○事務局：はい。特に外国語資料に限らず、「必ず貸出をしてください」のような表示はしておりません。図書館というものが性善説に基づいて運営されているところがあると思います。利用者は貸出をして持って行ってくださるという、信頼の下にできている施設なので。しかし、今後そういった表

示も必要になるかと思いますので、掲示担当と調整していこうかなと思います。ありがとうございます。

○委員：「持って行かないでね」みたいな内容ではなくて、英語で何かこう、ふわっと分かりやすく書く感じが良いと思います。性善説というお話は分かるなと非常によく分かるなと思いました。何かできればと思うので、私もちょっとどういう文言が良いか考えて、またお伝えしたいと思います。

○会長：はい。もしかするとあまりふさわしくないのかもしれませんが、ガードマンが巡回するというような運営方法は、図書館は考えてはいけないのかな。例えば、美術館にはガードマンがいたりしますよね。そういった対策方法はどうなのでしょう。

○事務局：はい。現在も警備員が1名、常駐しております。ただ、アルス全体で1名ですので、当然美術館も見てまわり、図書館内も時間を決めて巡回するというのを1日のうちに何回かやっていただいているので、常駐というのは難しい状況ではあるのですが、そういった形では配備させていただいております。

○会長：その警備の方は、制服は着ているんですか。

○事務局：そうです、制服を着た警備員が館内を巡回するということをやっております。

○会長：はい。他にございますか。では次の議題に移ります。令和6年度図書館運営上の指標に対する実績評価。事務局の方からお願いいたします。

〔議事2〕

○事務局：続きまして、議事2番の令和6年度図書館運営上の指標に対する実績評価について説明させていただきます。資料は9ページ以降になります。指標に対する実績評価についてですが、図書館の運営状況につきましては、図書館法第7条の4の規定によって積極的に情報を提供すること、また文科省の告示によって、図書館の設置及び運営上の望ましい基準におきまし

て、同じく適切な指標を設定して公表をすることと明記されております。こちらに従いまして指標を設定して実績評価を実施しているところでございます。

資料につきましては既に御確認いただいているかと思しますので、いくつかピックアップして御説明させていただきたいと思えます。まず資料 9 ページの 1－3、個人貸出点数ですが、目標値 155 万点に対し、令和 6 年度の実績値が 1,451,468 点、達成度が 93.6%となっております。前年に比べますと約 46,000 点減少しております。こちらにつきましては、特に中央館と移動図書館の減少幅も大きく見られまして、中央館が約 43,000 点、移動図書館については 9,000 点の減少となっております。減少した要因まで詳しくは分析できておりませんが、自動車図書館の減少につきましては、例年の暑さに伴いまして、熱中症警戒アラートが多く発令されていることも原因の 1 つかなと認識しているところでございます。

続きまして、10 ページ、電子図書館へのアクセス状況になります。こちらにつきましては、目標 24 万件に対して令和 6 年度の実績が 173,169 点、達成度につきましては 72.2%と、ちょっと少ない数字になってはいるんですけれども、前年に比べますと約 5.4 倍の数字となっております。こちらにつきましては、令和 6 年 6 月から電子図書館の学校利用促進事業ということで、各学校に電子図書館で利用できる ID とパスワードを配布し、児童生徒に利用していただけているということで、数字が伸びているものと思われれます。達成度は若干低くなっていますが、これは目標値を若干高く設定し過ぎたことによるものであり、今後見直しが必要になってくるのかと思えます。

続きまして、2－1 来館者数について、目標値 50 万人に対して実績が 554,215 人。達成度は 110.8%となっております。前年に比べまして約 99,000 人に多く来館いただいております。先ほど御説明した個人貸出点数

が減少しているとお話ししましたが、来館者数が増えているのに対して、貸出点数が減っているという現象が生じていると言えます。来館していただけにはいるんですが、一人一人の貸出点数が若干減少してるのかなというような分析をしているところではございます。

続きまして、13 ページの 4－1 自動車図書館利用人数、こちらにつきましても若干減っているところではございます。目標値 14,000 人に対して実績値 11,287 人、達成度 80.6%となっております。先ほど申し上げましたが、こちらにつきましては、やはり熱中症警戒アラートの影響が考えられます。令和 5 年度には 16 回発令されましたが、令和 6 年度は 26 回出されております。サービスステーションにつきましては、令和 6 年度 63 か所で巡回を行っていたところではございます。

続きまして、15 ページにあります利用者満足度です。会議資料では「利用満足度調査」となっていますが、「利用者満足度調査」と訂正させていただければと思います。こちらにつきましては、目標値 80% に対し、83% の方に「満足」「やや満足」と評価をいただいているところではございます。図書館の中で様々なサービスを展開しておりますので、今後も満足度を上昇させていけるように、サービスの見直しも含めて取り組んでいけたらなと思っております。

簡単ではございますが、御説明は以上になります。よろしくお願いいたします。

○会長：はい、実績評価に関して要所を説明してくださいました。その他にも沢山項目がありますので、どの項目でも結構ですから、ありましたら委員さんからどうぞ。

○委員：はい、2－1 来館者数のところなんですが、電子図書館の利点としてはやはり自宅で利用できるというところが大きいかなと思うんですが、電子図書館サービスを始めた一方でも、やはり図書館に来てほしい、来館者

数を増やしたいという想いがあるということなののでしょうか。

○事務局：そうですね、電子図書館のサービスが始まったというのは、あくまでもツール、選択肢が1つ増えたというとらえ方をしております。ただ、サードプレイスの実現ではありませんけども、できるだけ図書館に来ていただいきたいとは思っています。電子図書館の場合は、目的の本に達することはできるかと思いますが、図書館に来ると本棚を見ることによって新たな本との出会いが生まれる。こういったことも図書館の1つの役割としてあるかと思うので、できる限り足を運んでいただきたいということには心がけております。一方で施設として手狭であるなど色々な課題もありますので、我々も悩んでいるところではございます。

○委員：はい。やはり図書館に足を運んでいただいたときの、本の一覧性という点では、電子図書館では敵わない部分だと思いますので、直接足を運んでいただくというところは意識したいなという思いで聞かせていただきました。県立図書館の例なんですけど、「図書館冷えてます」というポスターを作成して、図書館に来て涼みましょとPRをされていて、そのPR自体が取り上げられたりしてましたので、そういったPRも、小さなことですが良いかなと思いました。

○委員：2－7ホームページのリニューアルについて、大変綺麗になっている見やすくなったと思います。ありがとうございました。

このことに関して、図書館に関心を持っている方から感想をいただいたんですが、せっかく子どもにも親しみやすいようなデザインになったけれども、小学生が読めないような漢字が使ってあって、小学生向けのページが少ないというふうに感想を言っていました。私も、図書館のOPACでやっているように、子どもと大人のページを切り替えるボタンがあったらいいのではないかと考えています。

また、3－2大活字本の貸出冊数について、利用率が少ないということ

が数値として表れているのだと思います。私も大活字本を活用しなければいけない状況になってきて実感するところなのですが、大活字本は借りて帰るには重いと思うんです。会議資料の評価のところに「電子書籍の利用を促進していきたい」というようなことが書いてあり、全くこのとおりと思いました。大活字本を貸し出すことも大事ですが、今は電子書籍の選書が割と児童や青少年向けの資料が多くて、年齢が高い方に向けた資料が少ない気もするので、そのバランスを考慮いただきたいと思います。物理的な大活字本の購入を増やすのがいいかどうかということに、ちょっと疑問を感じております。

続きまして、4-2 自動車図書館の貸出冊数について、これはどうして減少したのかなと思ったんですが、先ほど熱中症警戒アラートによる運休の影響ではないかということをお聞きして、納得しました。前々から考えていたんですが、私は車を運転しないので、今後は徒歩や自転車で地域の図書館を利用するようになっていくと思います。車を運転できない人や小中学生にも言えることだと思うんですが、今後、図書館とシステムで連携していない交流センターの図書室に、団体貸出をするということが実現してもらえたらいいなと思っています。同じ生涯学習施設ですし、連携が実現されるとすごく使いやすいと思います。これは次ページの団体貸出の利用回数や貸出冊数にも関係しますが、今お話ししたようなことを実現していただけると本にとっても利用者にとってもありがたいと思うので、今はないような団体貸出のルートも考えていただけると嬉しいです。

○委員：所蔵資料の点数が限界に近いということを照らし合わせますと、本の数を減らすことも一旦考えられてはどうでしょうか。基本的には選ばれた本なんだと思いますが、良書という観点においても一度精査された場合に、やっぱり省けるものもあるのではないかなと。いろんな視点に立って、幅広くいろんな資料を揃えていただいていますし、先々はもっと大きな図

書館を目指されているので、それは素晴らしいことだと思うんですが、実際に利用者がどのぐらい利用したかということも含めて、置かなくてもいいものを、本屋ではなくて図書館という性質から鑑みて、少し絞れるところもあるんじゃないかなと思います。1割とまでは言わないけれども、少し整理して先々の大きな図書館に向けて、ニーズに合わせて整理されるのもよろしいのではないかなと思いました。

○委員：1－6の電子図書館のアクセス件数なんですけれども、使い方講座をされるとよろしいのではないかと思います。満足度調査の結果報告書がこの後出てくるとと思いますが、電子書籍について、もっとこういう本がほしい、と色々な要望があったようですし、先ほど資料の傾向についての御意見も出ていたかと思うんですけど、電子書籍っていうものが、かなり限られた幅の中で選書、購入が行われるということが、なかなか伝わっていないように思うんですね。買いたくても買えない、ある一定の制約の中で選んでいるんだということを、使い方講座の中でも知らせていかれるといいのかなと思います。

あとは、2－6の予約件数が大きく増加しているということですが、この傾向はどんどん広がっていくと思います。サービスポイントの設置も含めて、使われ方の変化としてお考えいただくといいのかなというふうに思います。

また、2－7のホームページの件なんですけれども、新しいホームページに刷新されて、とても苦勞して、考えて変えていかれたんだというのは分かりました。ただ、市民委員なのでいろんな人に「図書館への要望はない？」と聞くんですが、その中で「ホームページが分かりにくい」という御意見が多かったんですね。ホームページを見る人というのは、よく使い慣れた人が蔵書検索をするというのが多分一番多いです。そうすると、トップページに簡易検索が出てきてほしい。例としては、多摩市立中央図書館

のホームページがすごく見やすいなと思います。もう一つの使い方としては、つくば市に転居してきて初めて図書館を使う方だと思うんですけど、その方たちがホームページから、どこに図書館があるのか、分館があるのかということが、今の状態だと全く掴めないですね。これも多摩の中央図書館だったら分館がここにありますが、ということがよく分かります。そういう2つのタイプの使い方への対応が必要なのかなと思います。

実際ホームページをよく使って、分館受取で利用している身としては、分室の開館日をそれぞれの図書館で載せてもらいたいなっていうのがあります。お盆の時期とか、私も問い合わせをしてしまったんですけども、例えば谷田部交流センターで出してきたときにパンとトップ画面に出てくるところでは、本当は休館なのに開館になっていたりしたんです。中央館が閉まっているはずなんだから、開いているわけないよなと思いながら、問合せで確認したりということがありました。お盆中に図書室を利用したときも、電話での問合せを2件ほど受けているのを耳にしました。それぞれでカレンダーを作っているの、ホームページからもそれぞれの開館日が分かるようにしていただきたいなと思います。

もう1つだけ、英語表記についてです。多言語に変えられますよね。特に利用案内のところなんですが、返却についての案内の中で、ブックポストのことを“Return post”というふうに翻訳されているんですけど、英語だと「返信」という意味になってしまいます。“Book post”というのは英語表記では存在なくて、“Book drop”又は“Return box”という表記になります。海外の方に配慮して海外表記にするのであれば、専門用語のチェックは改めてしていただくといいのかなと思います。

○事務局：はい。今ホームページの件が出ましたが、今回7月にリニューアルはしましたが、決してこれでゴールではないので、また御意見いただきながら、少しずつ改善をしていきたいと思っています。

また、蔵書につきましては、資料選定委員会を毎週開催しておりまして、その中で全体を見据えて調整しておりますが、人気のある本を揃えることはもちろんですが、やはり図書館として置くべき本というものも置いていけないといけないかと思います。図書館の使命として資料の収集、整理、保存、そして提供という大きな仕事がありますので、それぞれを満たしていく中で、選書担当の職員も葛藤しながら選んでるところはあるんですけども、将来的な、全体的なことも考えた上で、資料整理、収集を進めていきたいと思います。御意見ありがとうございました。

○委員：はい、学校との連携というところからちょっと感じたことをお話しさせていただければなと思います。団体貸出の達成度の割合が非常に低いんだと目の当たりにしてちょっとびっくりしました。学校司書の方達には御案内いただいているかと思いますが、担任の先生たちにも案内していただくような工夫があると、中央図書館でこういうふうになれば、貸し出してもらえるんだっていうことが分かってくるのではないかなと思いました。そういった何か工夫点などがあれば教えていただきたいということと、合わせて電子書籍の方も閲覧数や達成度がちょっと低く、学校との連携に努めていきたいということですので、そういった形でのPRの工夫とか改善とかってということについて、もしお考えがあったら教えていただけるとありがたいなと思います。

○事務局：団体貸出ですけれども、4交流センターが分室になったということで、自分の目標としては4交流センターの図書システムで団体貸出ができないかなという考えがあります。各学校も例えば茎崎の学校でしたら、茎崎の交流センター図書室で借りられたら良いかと思います。ただ、窓口業務を委託していることもあり、職員向けの研修ですとか、実際の運用方法やPR方法などを考慮しなくてはならないので、すぐには実現できませんが、今後検討していきたいと思っています。

○会長：ではここでオンラインで参加されている委員から意見があるようですので、モニターを見てください。

○委員：はい、オンラインから恐れ入ります。全体として、やはり経年変化で見ていくことが大事だと思います。実績が上がっているものが多いなという印象を持ちました。その上で、2つございまして、1つは、図書館での資料の貸出に関して、市民のニーズが変わってきているように感じました。2－5と2－6のところです。

2－5は評価欄に書いていただいていますし、別途お配りいただいた令和7年度つくば市の図書館概要の27ページにも、館外のどこから何点返却があったのかなどの詳細が書かれていますが、やはり新たに設置した箇所への返却が非常に増えていて、市庁舎コミュニティ棟での返却も増えていることがよく分かります。その上で、こういった返却ポストに返却した利用者が、その後、新たに貸出をするところまで繋がってるのかどうかというところが気になっています。返却期限が迫ってくる中で、近くで返せる便利さもあると思うんですけども、返却した後、また借りるところまで繋がっていくといいなと思いました。

合わせて、2－6予約件数に関しては、その資料が貸出中だから予約するパターンと、取り寄せるために予約するパターンとの両方が含まれているので、もしそれらを分けて数を把握することができるのであれば、分けた方が正確な評価をしていく上では良いかと思います。

2点目は、もし分かれば教えていただきたいのですが、5－2、5－3のところで、ボランティアの登録や活動が増えていて、非常に素晴らしいなと思いました。令和6年度の値は、コロナ以前の水準に戻ってきていると見て良いのかということと、令和5年度の登録者数151人が、令和6年度は164人になっていて、少なくとも13人以上新たな方が登録されているということで、ボランティアが広がっている背景などが分かれば、今後さ

らに広げていくこともできるのではないかと思います。

○事務局：はい。ブックポストへの返却につきましては、コミュニティ棟が非常に増えていると同時に、コミュニティ棟での予約本の受け取りも増加しております。もしかすると中央図書館や、既存の交流センター図書室に行かずに、コミュニティ棟だけで済ませていらっしゃる方も一定数いるかなと思っております。

また、ボランティアの件でございますが、コロナ前の水準に戻ってきているんですけども、他の図書館の館長ともお話しする時に、つくばのボランティアが非常に多いというのはよく聞かれるんですが、その背景や理由に関しては、ありがたい話ではあるんですが我々も分析しきれてないところがありますので、今後探っていければなと思っております。ちなみに、当館のボランティアを参考にしたいということで 10 月に取手市立図書館のボランティアの皆さんが 50 名ほど視察に来られる予定もあります。つくばがボランティアが盛んだということは、一部ではありますが、茨城県内の図書館では広まっているという状況がございます。

○委員：2 点あります。達成度が 100%を超えてる部門があるのが複数あるのが素晴らしいなと思いました。今委員が仰ったように、特にボランティア関係が 100%を超えてるのは非常に目に留まって、市民の皆様方と一緒に図書館がいろんな形で進んでることがよく分かってとてもいいなと思しました。14 ページの 5－4、おはなしボランティア等によるおはなし会の回数が多い。そしてぬいぐるみたちのお泊まり会なども非常に好評だということ。それから 13 ページの 5－2 ボランティア登録数が多い、というのが私も非常に素晴らしいことだなと思しました。

そして別件では、9 ページの 1－4 なんですけども、視聴覚資料の貸出が 1 週間から 2 週間に変更になったこと、これはすごくありがたいことだなと思っています。私は朗読関係の友人が多いのですが、自分では買え

ないけれども参考にしたい朗読の CD は、図書館で借りるという人が多いです。1 週間だと、返しに来る日にちも考慮すると 1 週間は短い、という話が以前からあったので、2 週間に変更になったことで、利用が増えていくのではないかなというふうに感じました。ありがとうございます。

○会長：ボランティアの人たちが多いというのは、この研究学園都市のつくばならではのんでしょうね。では、次の議題に移ります。利用者満足度調査について、事務局から説明をお願いいたします。

〔議事 3〕

○事務局：利用者満足度調査は、図書館利用者の利用実態や満足度を調査し、図書館運営に生かすための基礎資料として活用するものです。調査期間は、令和 7 年 2 月 2 日から 3 月 23 日までの 32 日間、アンケート用紙といばらき電子申請・届出サービスを利用した調査を行いました。回答数は 478 件で、そのうち 67% がインターネットからの回答となっています。回答者の年齢層は 40 代が最も多くなっており、一方、20 代が 4% と最も少なくなっています。

各項目については資料をお読みいただいていると思いますが、特に館内での滞在時間については、「10 分から 30 分」の回答が最も多く、全体としても 1 時間以内とする回答者が多いことが分かります。最も利用するサービスポイントごとの滞在時間の内訳を見ると、予約本受取窓口での「10 分以内」の回答が多く、予約本の受け渡しにかかる時間を回答したのだと思われます。一方、中央図書館について、比較的長い滞在時間の回答が多くなっています。

各サービスに関する満足度は、25 ページに示したとおりです。特に満足度が高い項目は、スタッフの対応、開館時間・開館日数、館内の過ごしやすさ、館内の案内表示で、「満足」「やや満足」が 70% 以上になっています。満足度が低い項目、「不満」「やや不満」が 30% 以上のものは、所蔵資料

の数や種類となっています。現在棚の収容スペースが限界であること、図書館の規模が人口に見合っていないこと、新しい資料が常に貸出中であることなどが要因として考えられます。知名度が低い、利用されていない項目は、調べもの（レファレンスサービス）と電子図書館サービスになっており、「分からない」及び無回答が40%以上となっています。

総合的な満足度については、「満足」「やや満足」を合わせた満足度は8割を超えています。一方、「不満」「やや不満」は17%となっていますが、この方たちの意見や要望についても、できる限り収集し改善を行っていきたいと思います。また、図書館への御意見については数多く寄せられていますので、真摯に受けとめ、改善可能なもの、実現可能なものは順次実行していくよう検討してまいります。

また、今回の調査の最後で、新しい図書館の整備検討についての意見をお聞きしました。自由記述では、多様な利用ニーズにこたえる学習・ワークスペースや、子どもから高齢者まで全世代が過ごせる居場所と、長時間滞在できる場所としての図書館が求められていることが分かります。

整備を希望する場所としては、TX沿線が求められている他、つくば駅や研究学園駅に施設が集中していることから、他の地区での整備を求める意見がありました。また、図書館の必要性を疑問視する声や既存の図書館や施設の充実を求める声もありました。

○会長：これは、筑波と小野川交流センター図書室は窓口から声をかけたけれども、谷田部と荃崎は声をかけなかったと。これによって大分、アンケートの結果に差が出てしまいましたね。来年からは気をつけてくださいね。では、委員さんから何かありましたらどうぞ。

○委員：はい。利用者の自由記述の中に気になることがありまして、28ページで、予約本の配本手順の問題ですかね。今の予約のかけ方ではなくて、所蔵場所と受取場所に関係なく、本があるところから取り寄せて欲しいとい

う要望と、県立図書館の資料の貸出返却を全館で可能にして欲しいというところが気になりました。交流センター図書室が分館化したということなので、ここはもう実現できる体制、ルールになったのでしょうか。中央図書館のお仕事というか、負担を分散させるためにも、交流センター図書室の役割や仕事の内容を、中央図書館の仕事を肩代わりできるようなふうに変えていただけると、利用者としても助かるなと思います。利用者も身近なところで貸し借りできることを望んでいるので、ぜひ分館の機能を強化していただけるようお願いしたいと思います。

それと、同じページに、学術書を入れてほしいという希望がありましたけれども、ここは筑波大から借りられること、筑波大学附属図書館と連携していることがまだ浸透していないのかなと感じました。

○事務局：御意見ありがとうございました。1点だけ、県立図書館の資料の貸出返却を分室で行うことに関してですが、これは現在、県立図書館の方に、それをやっていかどうか照会しているところです。ただ、大分時間が経つんですけどまだ明確な返事がないもので。我々としてはやりたいと前向きに考えております。

○委員：はい。御説明いただきましてありがとうございました。アンケート調査、例年のごとく満足度が高くて素晴らしいなと思って拝見しております。満足度の中で、特にスタッフの対応が高くなっていて、これからの時代は人を大切にする施設だったり、団体だったり、企業だったりが残っていく時代だと思っているのですが、本当にスタッフの皆さんが御尽力なさっているおかげで、利用者が気持ちよく過ごされてるというのが数字としても現れていて素晴らしいと思います。

こちらのアンケート結果をすべて拝見すると、要望については大変細かく載ってるんですが、プラスのレビューが1つもないのがすごく気になってまして、プラスのレビューで皆さんが施設に足を運ぶ時代なので、もし今

後可能であれば、アンケートの中に、どんなところが良いねという良い方の声を集めていただくと今後の図書館づくりにおいても、その点は外さずに大事にしましょうというふうになると思うので、御検討いただけたら嬉しいです。

もしアンケート項目として増やすのが難しければ、例えば飲食店などでも色々ありますけど、「ありがとうカード」みたいなものを受付に置いていただいだけでもいいと思います。嬉しい声をもっと見える化していただくと、ありがたいの連鎖が図書館をもっと気持ち良い場所にしていくんじゃないかなっていうことを感じました。

23 ページで、図書館・図書室を利用しない理由ということがありまして、やはり図書館にいらっしゃらない方の声ってすごく重要だと思います。今後、みんなの図書館という視点で図書館づくりを進めていくんだろーと思いますし、こういった声を反映できたらいいかと思いました。

○事務局：はい。25 ページのスタッフの対応のところ、確かに満足度が 88% になっていて、一見すると高く感じますが、そもそもこのアンケートにお答えいただいた方が好意的な方が中心だというふうに考えれば、否定的な批判的な御意見は拾い切れていないのかなということもあります。

ただ一方で、「不満」が 2% いらっしゃるということなので、一定数はいるということは我々も肝に銘じて、これを 1% でも少なくする努力は継続的にやっていく必要があるかなと思います。この「不満」2% と「やや不満」の 4%、合わせて 6% は、真摯に受けとめて、今後も改善していきたいと思っています。ありがとうございます。

○委員：私は 22 ページの表 7 に注目しました。大変興味深いデータだなと思います。図書館の利用の仕方が人によって、利用者によって非常に多様化しているということがよく分かる結果だと思います。中央図書館ですと 2 時間以上滞在されて、図書館ライフをじっくりそこで過ごされてる方もいれ

ば、10 分から 30 分で帰られる方もいると。また、先ほどの議題でも質問させていただきましたが、コミュニティ棟やかとりだい交流館では、非常に短時間で、返却をするだけという人もいらっしゃいますが、コミュニティ棟でも 2 時間以上や 1 時間という方もいらっしゃるようです。この場合は、ふだんはコミュニティ棟をよく返却や貸出のために使う一方で、中央館や他の図書館にも滞在することがあるということだと思うので、利用者によって利用方法が多様化している状況に、今後どう応えていくかが重要かと思います。

○会長：この「2 時間以上」というのには、学生も含まれているんでしょう？

○事務局：はい、もちろん学生の方にもお答えいただいていると思うんですけど、特にコミュニティ棟につきましてはフリースペースがありますので、そちらを居場所として学習、自習している学生さんもいらっしゃいますので、この「1 時間」とか「2 時間以上」の数字として上がってきているのかと思います。一方、かとりだい交流館につきましては、児童クラブが入っている施設になるので、本当に窓口で本を受け取るだけのサービスになってしまいますので、その違いが少しあるかなと。やはり、フリースペースというのがポイントで、こういった結果に表れているのだと思います。

○会長：はい。用途によって時間は大きく変わりますよね。特定の本を目指して借りに来たのであれば、5、6 分で済んでしまうし、少しゆっくり調べものをする場合にはもっとかかるだろうし、何分ぐらいできるから理想だとか、そういったことは言いませんよね。

○事務局：そうですね、それは利用される方が自由に決めていただければいいかと思います。

○委員：はい、質問 1 点させていただきたいと思います。まずコメントなのですが、21 ページの主な利用目的のところで「本や雑誌などを借りる」が 91% ということで、先ほど滞在時間については「10 分から 30 分」が多いという

結果から、本を借りて帰るという「非滞在型」の利用をされているということが分かると思います。

一方で、この後御報告いただけると思うのですが、新しい図書館に求めるものとしてあげられているのが、くつろぎであったり、カフェ・飲食可、子育て・遊び場について多く御要望いただいているといことうから、滞在型が望まれていることがわかります。こうしてみると、市民の皆さんのニーズとマッチさせるには、今のままの図書館では難しいということになるのかと思います。

もう1点、質問ですが、電子申請による回答も可能としたということですが、これは調査対象はつくば市内に在勤、在学、在勤する者ということで、どのようにアクセス制限を行ったかについて教えていただけますでしょうか。

○事務局：特にアクセスの制限はかけていませんが、今回利用した「いばらき電子申請・届出サービス」というものは自治体ごとにページが分かれていますので、基本的にはつくば市に関する届出のページにアンケートのフォームがあり、そこにアクセスした人が回答するような流れになっています。ただ、全く関係ない外部の方も回答はできてしまうので、そういったことを考慮して、居住地に関する設問を設けています。

○委員：では、同じ方が複数回回答しても分からないという仕組みになっているということでしょうか。

○事務局：アンケートフォームの形式として、「届出」という形で1人1回の制限をかけることは可能です。ただ、今回は無記名のアンケート形式をとったため、複数回回答しようと思えばできてしまう状態になっていました。

○会長：今、滞在型という言葉が出ましたが、どのぐらいの時間いけば「滞在型」と言えるのでしょうか。

○委員：特に数字はないとは思いますが、今回の調査結果の中で本や

雑誌を借りることを目的としている方が9割以上いらっしゃるということなので、交流とか、居場所として図書館を活用しているというよりは、資料の貸出が主な目的となっています。そういう意味では、滞在型の利用はされていないのではないかなと。他の目的に則したスペースを求めているけれども、スペースがないから帰ってしまう、帰らざるを得ないというのものではないかなと思います。

○事務局：はい。後で先進事例の視察の報告をさせていただきますが、やはりそれぞれの自治体の交通状況とか、面積とか、移動距離とかですね、いろんな条件が重なってくると思うので、今後はそういう観点からも調べていく必要があるかなと思います。

○委員：本当にそうですね、私も図書館利用者ですが、予約の本を取りに来て、本当にそのときにしか図書館にはいません。それでも、長年図書館を使っています。仰ったとおり、スペースがないんですね。滞在しようと思えるだけのスペースがない。すごく利用が多いので、閲覧席がいっぱいということがほとんどです。閲覧席は増やしていただきましたが、それでもいっぱいです。だから、もし本当にスペースがあれば、私ももっと滞在すると思います。今回のアンケート調査の結果として寄せられたあらゆる要望がスペース不足、建物に強く関連しているのかなという印象を持ちました。

ただ、最近私が図書館の中で少しメモをとりたいと思って、閲覧席を利用しようとしたら、机に番号が振ってあったので「あれ、前はあんな番号なかった」と思ってカウンターで聞いてみたらですね、職員さんがパッと教えてくれました。横の受付のところに番号札があって、空いてるところは使えるということで、私もその後30分ほど利用しました。あれは図書館の努力の一端を見た気がします。当初10分しか使わないつもりだったんですが、結局30分くらいいました。

番号札を持って行ったら、多分大学生かな、既に席を使っている人がい

て、何か書き物をしていました。どうしようかと思ったんですが、声をかけてみると「すいません」と言って気持ち良く去っていきました。彼もまた別の席を探しに行っていましたね。スペースはどうにもならないですね。でもその中でも、努力と言いますか、皆で有効に活用している様子の一端を見ました。

○委員：スペースがないということに関してですが、ものすごく長く使う人には申し訳ないんだけど、つくばの人口がこれだけ増えてきてることも併せて考えていただくと、例えばですが、2時間使ったら一旦出なきゃいけないとか、そういう仕組みを作られてもそろそろいいんじゃないかなというふうに私は思っています。

もちろん長時間滞在するような使い方を楽しまれることは素晴らしいことだと思うし、本当に2時間3時間も読書していらっしゃる方を否定したり邪魔したりしたいわけでは全然ないんだけど、これだけ市が大きくなってきて、人数も増えて皆に使ってほしいという公平の観点で考えれば、やっぱりある程度の時間を区切ってまた出直してもらうとか、逆にそういうことでまた集中して読書に取り組むとか。完全に学習のために図書館を利用する人がいたとしても、もう少し効率よく、いつまでも勝手に使っていられないように、ある程度時間を限定して、入替えをしながら運用できるといいのかなと思います。

私は図書を借りて持って帰ることがあまりなくて、何かのついでに30分以内ぐらいで、続きのものが読みたかったり、何かしら調べたりしたいときにちょっと使うだけで、本当にすぐ出てしまうタイプです。やっぱり利用してて思うのは、漫然と図書館を私物化するっていうことだけは避けていただいて、お互いに気持ち良く過ごせたらいいなと。そしてできれば電子書籍もいいけど、やっぱり手に取る良さを実感していただく時間を一人でも多くの人に味わっていただきたいなと思います。

○事務局：正直なところ、時間制限はあまり設けたくはないんですね。それぞ
れ見方によって必要な時間というのはあると思いますので、できれば設け
たくない。ただ、スペースの問題と、駐車場の問題があります。現在は駐車
料金の無料化が2時間までとなっています。現在の形が完成形ではないと
思いますので、少しずつマイナーチェンジしながら皆さんの最大公約数み
たいなものになってしまうかと思うんですけども、そういったところに向
けてまた検討していきたいなと思います。

○委員：今のお話の中でもあったんですけども、駐車場が2時間までとい
うのは、利用者の感覚からすると、割とそれが気になるというか、2時間経
つまでに帰ろうと、時計を気にすることに繋がっているのではないかと思
いました。

先ほどの表7でも、2時間以上の方が13名いらっしゃいますけど、その
方々は車以外の手段で、送迎や徒歩で来ていらっしゃるのかどうかですね。
誰もが館内で自由に時間を気にせず過ごせるような条件を整えていければ
いいと思いますが、なかなか難しくて、駐車場も目的外で利用されないよ
うにということも考えなくてはいけないかと思いますが、図書館無料の原
則に立ち返ったときに、2時間以上滞在した場合に駐車場代がかかってし
まうということを、何か今後工夫して、新しい図書館に関しても工夫して
いけると良いのではないかと思います。

〔議事4〕

○会長：では、次に行ってよろしいですか。新図書館整備検討に関する簡易ア
ンケート調査の結果について、事務局からお願いします。

○事務局：新たな図書館の整備検討に関する意見を収集するため、5月に行わ
れた図書館主催イベント「ライブラリーピクニック」の開催に合わせて、
図書館来館者や来場者、付近の通行人を対象に、新たな図書館について広
く意見を募りました。5月16日及び17日に実施し、付箋に記入していた

だき、台紙に張り付けていただくという形をとりました。本日の会場前方に貼ってあります、緑色のものがそれになります。アンケート開始の初期段階は、資料にございます「掲示物1」のみを掲示していましたが、子どもの意見が沢山寄せられました。大人の意見も集めるために「掲示物2」を後から追加した形です。

結果、170 件の意見が寄せられました。そのうち、資料の充実を望む声が多くありました。他には、くつろぎの空間や、飲食可能なカフェ、遊び場などを求める声が多くありました。子どもの意見で興味深かったのは、動物と過ごせる図書館や、メロンが食べられるカフェなどです。

今回の結果を踏まえて、8月のまつりつくばでも同様のアンケートを実施する予定となっております。

○会長：委員さんから何か意見がありましたらお願いします。

○委員：はい。まつりつくばでは、どの場所でどのような形でアンケートする予定ですか。

○事務局：はい。1枚チラシを配布させていただきましたが、御存知のとおり、まつりつくばは今週末、土曜日、日曜日に行われます。中央公園の芝生広場のところにテントが用意されまして、中央図書館のブースとして出展することを予定しております。そこでQRコード等を掲示して、アンケートにお答えいただいた方には缶バッジをお配りすることを予定しています。目的としては、意見の収集と、「図書館って必要ですね」という機運の醸成も図っていききたいなと思っております。ちょっと暑い中ではあるんですが、ぜひ皆さんもまつりつくばに足を運んでいただければと思います。昼間は中央公園での我々のブースを見ていただきまして、夜はまつりパレードをご覧いただければと思います。

○委員：本棚を見ることで、新たな本との出会いがある、図書館に行こう、って先ほど普通に仰っていましたが、これはものすごくいいキャッチコピーで

すね。「図書館冷えてます」もいいですが、本棚を見ることで新たな出会いがある、ということで足を運んでもらえるようになるといいなと思います。今日いただいた缶バッチもすごくかわいいので、ぜひ全種類の絵柄を並べて、たくさんの方にアンケートに参加してもらって、そして図書館に足を運んでいただけるといいですね。楽しみにしています。

○委員：先ほどの満足度調査の結果も含めてなんですが、周りのいろんな人に「新しい図書館どう？」と聞くんですが、この話題を知らない人がほとんどです。ちょっと学園都市から離れた方になると、「それはもうそっち側の問題でしょ」みたいな。「学園地域の人たちだけが関心があるんじゃないの」みたいな言われ方をしたこともありました。今後アンケートを取られるときに、回答する方の居住地を大まかでいいので聞いてほしいと思います。どの辺りに住んでいる方の御意見なのか、そのアンケート調査の結果が市民全体から見てどの地域の、何%の御意見なのかが分かるといいかなと思います。

満足度調査でもやっぱりインターネットの割合が結構多かったですね。アンケート調査があるということを、図書館に来る人や関心のある人だけが分かるような媒体ではなくて、例えば広報に載せるとか、普段図書館を使わない人、関わりがないと思っている人にも、インターネットでアンケートに参加できるということを積極的に PR していただけるといいかなと思います。これからも新しい図書館に関して、つくば市全体の大事な場所として考えていただけるようなものにしていくために、何か途中で計画自体がひっくり返ってしまったりしないためにも、そういうことはすごく慎重に取り組んでいく必要があるんじゃないかと思います。

○事務局：以前図書館協議会の中で、「普段利用していない人の声をいかに拾うかがポイントですね」と委員から御意見をいただきましたので、そういったところも意識して、インターネットだと多少広く御回答いただけるか

な、ということで今回取り組んでいるという経緯がございます。今委員が仰ったように、広報に載せるとか区会回覧を活用するとか、色々手法はあると思います。その辺りも徐々に広げていきたいなと思います。

○会長：あの、新しい図書館の方に目が行きますけど、それは私どもも楽しみでいいんですけども、これだけ広い街になると、既に4つの図書室があるでしょう。そちらも合わせて充実していかないと。図書室は、まだ条件が整わなくて「図書館」になれないんでしょう？ 私は、谷田部、小野川、荃崎、筑波の図書室も、しっかり充実していかないといけないと思います。新しい図書館の方にばかり目が行ってしまって、図書室がボロボロなのはどうかと思うので。

○事務局：4つの交流センター図書室を、本年1月から条例上の「分室」に位置付けました。名前は分室ですが、機能的には分館です。中央図書館が直接関わるという形に変わりましたので、これから来年度の予算要求と言いますか、案を作っていく時期になりますので、少しでも改善できないかなということで進めていきたいなと思っております。

もう1つ、「複合機能を持つ新たな図書館の整備検討」に着手したところなんですけれども、私たちの考えとしては、つくば市全体の図書館サービスをこれからどうやっていくかという計画も同時に作っていかうと考えています。新しい図書館がどう位置付けられるのかまだ分かりませんが、新設の図書館との規模や位置と、合わせて地区館の整備についても念頭に置いて、やはり全体的なこれからのつくば市の図書館サービスをどう進めていくかという全体計画も合わせて検討していく必要があるかなということとは、まだ館内で話してる段階なんですけれども、検討しているところです。そういうことも念頭に置いて、新たな複合機能を持つ図書館の整備検討に取り組んでいきたいと思っています。

○会長：確認ですが、今まで図書室だったところのことを、もう「分館」と言っ

てもいいのでしょうか。

○事務局：条例を改正し、1月1日から施行になっておりますので、「分館」と言ってもいいです。ただ、名称は変えていません。例えば、谷田部交流センター「図書室」なので、「分館」と言わずに「分室」という言い方をしております。ただそれは名称の違いであって、機能的には一般的に言う分館の機能を持っているという形になります。

○会長：もう「分館」なんですね。分かりました。

○委員：恥ずかしながら私、つくば市の住民になって30年になるんですが、図書館をほぼほぼ使っていないので、今日、どう発言しようかなと思っていたところです。車の運転ができないわけではありませんが、ただ何となく、車で行って本を読みたいなと思うと、つつい書店があるショッピングセンターに行って、駐車場に停めて、買い物ついでに本を買ってしまうんです。先ほどありましたが、本を見ていると、他のこの本も読みたいなと、眺めているだけで何時間でもいられるんです。だから図書館は本当に楽しい場所なんだろうなと思うんだけど、なんだかどうも足を運びづらい。自宅からは谷田部の交流センター図書室が近いんですが、やっぱり蔵書的なものとか、スペースには学生さんがいてあんまり座ってゆっくりはできないかなあと思いながら、じゃあ本を借りるよりも、本屋さんで買ってしまっただ方がいいかと思うのが正直なところです。

恥ずかしい話ですが、ここの図書館ができて、色々改善されてきて、借りやすいようになったとか電子図書館ができたとかをアピールしてもらったとしても、受け取る側としては、やはり図書館のホームページは見えないし、広報つくばに載っていても、図書館に関する記事も流し読みしてしまっている。

図書館が新しくなったとして、メリットっていうか、本を読んで新しい発見をしまししょうとか、やはり図書館では気づきが得られるので、自分で

知らないジャンルでこういうものが読みたいとか、知的好奇心をくすぐられるような体験はできると思います。ただ、そこに行ってもらわないと活用に繋がっていきませんよね。ホームページや広報つくばが一番の手がかりだとは思いますが、そこを流し読みしてしまって、一生懸命図書館を活用しようとはしなかった自分がいたので、先ほどお話があったまつりつくばなどで、色んな意見を吸い上げる場所を設けてもらえるといいかなと思います。そういった場所がもっとあると図書館の存在を意識してもらうきっかけになるのかなと思います。カードを作って、それっきり何十年も図書館を使っていなかったのが、本当に恥ずかしい限りなんですけど、スペースがあってゆったりできたりすると「ちょっと寄ってみようかな」というような感じになるのかなと思います。自分がこれまで図書館を活用してなかったことを反省した上で感想をお話しさせていただきました。

駐車場が2時間無料というお話もありましたが、どうしても駐車場に考えが行ってしまうんですよね。駐車場に停めて、歩いて行かないといけない。駐車場が隣接されていると活用しやすくなると思うんですけど、そういった利便性の部分で、図書館を選択肢から外してしまった自分がいたなと思います。学校では子どもたちに本を読めと言って、読みやすいように蔵書が少なければ市で借りようとか、小学校にいたときには、足りない本に関しては県立図書館と連携したりとかもあったんですが、自分のことになると先ほどお話ししたとおりになってしまって。やっぱりどうしても、図書館に来る人の意見ばかりだと偏ってしまう。アンケートでも、誰がどういう思いでその意見を言ってくれてるのかというような、全く図書館を活用しない人がどういう地区に住んでいるのか、中央図書館や他の本を借りられるスペースが身近にあっても、それを活用できているのかなと。自分としてもこれから意識して生活していきたいなと思いました。

○委員：今のお話をお聞きして1つ提案があるんですが、新しい委員さんがい

らしたときに「ヨモッカ」が今回配られていないなと思って。「ヨモッカ」なんて皆知っているだろうな、持っているだろうなと、もしかしたら思っているのかもしれないけど、やっぱり常に、今回のような場面で配るとか置くとかしてほしいです。「ヨモッカ」って御存知ですか。

○委員：すいません。

○委員：はい。ありがとうございます。すごくそういうことが大事だなと思いますし、こういった場では広げてくださる方が多いので、小さなことですが、ぜひお願いします。

○会長：学校関係者の中には、意外と図書館のことを分かっていないことが多あるかもしれません。自動車図書館が来るので、そのときは子どもが本を借りていますけど。つくば市では、校長や司書教諭、学校司書の方に一堂に会してもらって、図書館の方から説明をさせていただくとか、そういう機会があってもいいかもしれないですね。図書館から校長さんに直接語りかけることって、あんまりないですよ。

○事務局：直接校長の先生方とお話する機会は、年に1回程度なんですけども、校長会のところで事業説明など、どちらかと言うとお願いする場面のときにお邪魔して、図書館についてのお話をさせていただくことがあります。あとは、学校司書の研修については、当館の司書が請け負っておりますので、そういった場面ではあるんですが、確かに司書教諭の先生や現場レベルの他の先生方に直接お伝えする場面はなかなかないので、今後そういったところは工夫していければと思います。

あと、駐車場の無料化が2時間までというお話ですが、確かに駐車場との往復の時間も考えますと、図書館に2時間いることは難しいですよ。つくばはやはり車での移動が大前提になるので、意識していかないといけないと思います。

また、書店で本を購入いただいているということですが、実は市内の大

きな書店とコラボしまして、今まさにやってるところなんですけども、「本
推しコンテスト」というものがありまして、今月 31 日に表彰式をアルスホ
ールで行うことになっております。今年初めての試みなんですけど、そう
いったこともやっているということを合わせて御報告させていただきます。

○会長：分かりました。

〔議事 5〕

○会長：次にもう 1 つ議題があります。先進事例視察報告、お願いいたします。

○事務局：はい。資料 43 ページからになります。今年度から本格的に新しい図
書館についての検討を開始したというところで、我々の知見を深めるため
に、7 月に先進事例である多摩市立中央図書館、武蔵野市にあります武蔵
野プレイスに視察に行ってまいりました。

多摩市立中央図書館は、公園に面したところに立地しております。当初
の計画よりも建設が延びて先送りになってしまったので、ここができる前
は、廃校になった中学校の校舎を改装して、暫定的に運用されていたんで
すけども、当初の想定よりも、中学校校舎の利用期間は長かったようです。

我々としては、整備に向けての検討をどのようにしてきたかというところ
を重点的に聞いてきました。本庁舎に図書館を検討するための部署を作
ったのではなく、図書館の内部で建設に向けての部署を作ったということ
も伺いました。あとは検討委員会の進め方、基本構想、基本計画などの進
め方なども伺ってきましたので、これからの私たちの参考になるかなとい
うことで聞いてきました。

図書館自体もとても素晴らしく、資料の写真にあるように本当に考えら
れたスペースとなっています。公園に面したところが公園からすると 1 階
レベルなんですけど、実際建物としては地上 2 階になるんですね。

2 階はすごく開放的な雰囲気、カフェの横で勉強している人もいれば、

食事をしている人もいるような、色んな利用方法が混在している感じです。フルオープンにできる、或いは完全に仕切ることでもできるスペースもあり、会議スペースや、セミナーを行うような使い方もできます。ただ、そういうイベントがないときはフルオープンにして、閲覧席として使われているそうです。特徴的だったのは子どもコーナーです。広々と作られていたんですが、子どもコーナーの脇には一般コーナーがあって、一緒に来た親御さんが子どもを見守りながら、自分たちの本も探すということが出来るような、そういう工夫もされておりました。このスペースについては BGM が流れていて、賑やかな雰囲気です。

一方、そこのフロアから 1 階下がったところは、完全な静寂スペースで、案内してくれる方もそこでは言葉を発さずに、時間貸しのスペースがあるのでそこに一旦入って、そこは完全に防音されているので、「ではここからは声を出しますね」という感じで、全く、1 階と 2 階のテイストが違う作りになっていました。

それから、武蔵野市の武蔵野プレイスは、説明してくれた方は図書館とは呼ばずに「プレイス」と呼んでいました。しっかりとした図書館として作ってあるんですけども、若者をターゲットとしたフロアがあり、「ここからは 18 歳以下しか入れません」というスペースが作ってあったりして、若者に向けて「好きに使ってね」という感じで強くメッセージを発信しているような施設です。複合機能を持つということになれば、当然そういった子ども向け、若者向け、大人向け、高齢者向けで、色々機能が入ってくると思うのですが、青少年向けという面でとても参考になるかと思い、この武蔵野プレイスを見させていただきました。先ほどお話しした若者向けのフロアは地下 2 階にあるんですが、そこは本当に、カップラーメンを食べてもいいようなフロアなんですね。ラーメンの汁が残ったらここに捨ててねみたいな、ちゃんとそこまで用意されていて、もちろん湯沸かしポット

も置いてあります。学校帰りにカップラーメンを持ち込んでもいいからここに来てね、みたいな、そういうウェルカムな感じが非常にしました。夏休みに入ったばかりの時期だったんですけども、非常に賑わっておりました。

今後の先進事例の視察ということで、できでしたら、当協議会の委員さんにも一緒に行っていただけるといいかなと考えておりまして、47 ページ以降に候補として書いてあるのが、まず栃木県真岡市に monaca という、最近できたばかりの複合施設があります。あともう 1 つ、これは県内の桜川市の生涯学習センターさくらす。次のページがちょっと遠くはなりますが那須塩原市のみるる、そして、私が個人的にはここを目指したいなと思っているんですけども、神奈川県大和市のシリウス。こういったところに日帰りで視察可能ではないかなということでピックアップさせていただきました。

また、49 ページに、ちょっと離れたところでも先進的な、参考になる図書館があるので、そこは職員で視察したいなと考えておりまして、その候補として、表にあるようなところがどうかということで、今検討しているところでございます。

○会長：ちなみに、多摩の中央図書館の延床面積は 5,439 平米。武蔵野プレイスは、延床面積が 9,810 平米。ところで、ここは延床面積はどのぐらいなんでしょう。

○事務局：ここは、図書館部分が 1,700 平米しかありません。

○会長：そうしたら、随分小さいんだね、ここは。

○事務局：そうですね、小さいです。35 年前は広いねと言われたんですけど。土浦が確か、6,000 平米弱あったかと思うんですね。

○会長：ここは狭いんですね。はい、他にございますか。

○委員：はい、今御説明の中で 48 ページのシリウスを目指すところだと仰いま

したが、どんなところが良いと思われたのですか。私がちょっと行ったことがないので伺います。

○事務局：私の感想でいいですか。詳しく御存知の委員もいらっしゃいますが、実は個人的な回数も含めると4回ぐらい行っているんですが、まず市民が集って、色々活動できるスペースが十分にあります。いいなと思ったのは、さっきの多摩にもありましたが、図書館のフロアと仕切られることなく、セミナーとかをやっているんですね。「健康都市」を掲げているところなので、体脂肪などの測定器も置いてあったりとかして、付近にも健康に関する本が集まっていて、その一角でセミナーをしていて、毎日午前と午後と入ってるぐらい盛んです。

あともう1つ良いと思ったのが、有料スペースではあるんですけども、子どもの遊ぶプレイスペースがありまして、そこの周りにベビーカー置き場が十分にありました。当館には今、こどもコーナーが狭くて、ベビーカーを置く場所がないので、そういったところもやはり計算されていていいなと思いました。

また、有料の閲覧席があります。確か2時間で100円とかそれぐらいなんですけど、そこはWi-Fiももちろん使えますし、電源もとれるということで、ビジネスで使っている方もいます。ビジネスユースが多いのかなと思うんですけども、そういうところがとても参考になるなと。1階に入るとすぐのところにスタバがあって、雑誌の最新号と新刊コーナーがあって、出入口にコンシェルジュが、職員がいて、色々な案内をしてくれます。

何よりも良いのは、非常に大きな図書館でありながら、各フロアのカウンターに従事する職員が非常に少ないんです。というのは、ICタグが資料の中に入っていて、基本自動で、セルフで貸出をしている。出口では当然センサーのあるゲートがありますので、貸出されていなければブザーが鳴ると。ゲートの横には必ずスタッフがいます。運営もそうですし、建物施

設、設備、機能などすべて、私が今まで見た中で、いいなと思って、複数回足を運んだ図書館です。

○会長：それでは、残り 12 分になりましたので、ここで全委員さんに一言ずつ、要望でも意見でも何でもいいので、言いつ放しでいいですからね。お願いします。

○委員：図書館のホームページについてですが、私自身は階層が減って一覧性が高まり、とても見やすくなったと思っています。

○委員：本日はありがとうございました。23 日、24 日のことを大変楽しみにしております。口コミで広めましょう。よろしくお願いいたします。

○委員：新しい図書館のコンセプトをこれから決めていくと思うんですけども、それを明確にしていって、エリア分け、機能分けをこの中央図書館と新しい図書館でどう分けていくか、そして利用者のニーズをどう取り込むかっていうところを明確にしていってほしいです。新しい図書館はいらないんじゃないかという方の意見もありましたし、電子図書館があるから行かなくていいんじゃないかという方にも来ていただけるような図書館を作れたらいいなと思いました。

○委員：委員会自体については皆さん御意見があると思うので言いませんけども、ちょっと御提案として、私、耳は多分かなり良い方だと思うんですけども、聞き取りにくい、声が聞こえない方が沢山いらっしゃったのがすごく気になりました。特に今日 Web で参加していらっしゃる方もいるので、聞き取れなかったんじゃないかなと思うんですね。やっぱり聞き取れないと駄目なので、マイクがあった方がいいんじゃないかなと思います。もしできれば、次回マイクを用意していただけたら良いかなと、御提案させていただきます。

○会長：それは私も思う。まず事務局の方から滑舌を良くして、大きい声でプレゼンして欲しいなと思う。私は元の職業柄、声は大きいんですよ。この

ぐらいの声で話してくれないと聞きづらい。

○委員：新しい図書館建設に向けて、本読むだけじゃない色々な目的の人も増えて、それはいいことに繋がってほしいと思うんですが、一方で、トイレなどに非常ベルをつけるとか、安全面のことは必ずきちんと用意してほしいと思います。

○委員：聞こえにくいからマイクが必要、という話はそのとおりだと思います。あと、外国語の絵本、外国語の児童図書の不明点数が増加していることに関してですが、私の想像ですけれども、色んな国からいらっしゃるの、どうやって貸し出すのか、日本の図書館の制度がよく分かっていないんじゃないかと思います。図書館ボランティアの方に、外国語ができる方がいらっしゃるの、そこに声かけを頼むのはどうでしょうか。それで、図書館の簡単な使い方を、冊子じゃないけど、お知らせでもいいから出したらいいかがでしょうか。

○委員：全然関係ないのですが、利用者満足度調査で20代の回答があまりなかったということに関して、自分が20代のときに図書館を全然使っていなかったなと思い出しました。使わない時期があっても、年代が変わったときに図書館に戻ってきてもらえるように頑張っていきましょう、と思います。

○委員：今日はありがとうございました。初めて参加させていただいて、皆さんのお話を伺って、こんなふうに図書館って運営されていて、そして新しい図書館が出来上がっていくんだなと、すごくワクワクしてきました。学校の方でも図書館と連携を深めていけるように頑張っていきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

あともう一言だけいいですか。私筑波山の方の出身でして、筑波分室の利用者を見てみたら、70代の方がすごく多くて、居場所になっているんだなと思ったら嬉しくなりました。

○委員：どうもありがとうございました。先ほどちょっと長い話になってしま

いましたが、36 ページのところに新図書館の整備場所として周辺市市街地、私が今勤めている並木に、という声があつて。どうしても建設できる場所は決まってくるけれど、本を読みたい人は、もしかするとそういった周辺にいるのだと思うので、何かこう連携が図れたらいいなと思いました。

○委員：色んな図書館をこれから見学されていくし、私たちも参加できたら嬉しいと思うんですけども、必ずそのときに、その図書館のバックボーンである、分館がいくつあるかとか、その市の人口、予算、図書館の必然性、必要性があるのかということを事前に知っておいていただきたいと思います。図書館概要というものは、図書館法で作らなければいけないことになっているので、必ず公表されています。ホームページを見れば出てきますので、統計や運営方針をぜひ確認してください。その図書館を市が今どのように考え、どう運営していきたいか、どう思っているかという熱意が伝わってきたり、伝わってこなかったりしますので。

バックボーンも含めて検討した上で、つくば市は 26 万人、一般会計予算が 1,273 億円。それで照らし合わせると一番近いのが、大和市の文化創造拠点シリウスです。シリウスの場合は、分館 2 館、IC タグを入れていて、指定管理です。指定管理かどうかということも、ネットでは比較的簡単に出てきますので、ちょっと予習をして、そこに行ったときに何を見るかという視点は持っていたいと私も思っています。

あと、私は谷田部交流センター図書室のヘビーユーザーですが、下に保健センターがあつて子どもたちがいっぱい来ているのに、赤ちゃん連れのお母さんがいっぱいいるのに、そこと図書室がリンクしていないというのがすごくすごく気になっています。お宝がいっぱい下の階にいるのに、そこを繋げられないのかな、おはなし会の 1 つもあれば、1 階から 2 階へ上がってきてくれるのにな、と気になっています。今の管理契約では、それが不可能なことも承知しております。

○委員：本日はありがとうございました。震災後能登半島を訪れまして、災害やコロナなどに強いまちづくりと、その中での図書館づくりということを今後考えていく必要があると思っています。新たな図書館ができるのは最短で8年後ということでしたが、できてからも何十年、あるいは100年を超えて、その図書館を使っていくことになると思います。

また先日、武雄市図書館を12年ぶりに訪問してきましたけれども、開館後にも時代に合わせたイノベーションを重ねていました。開館がゴールではなく、むしろそこをスタートに置きながら、長い時間軸を持って、議論していきたいと思っているところです。

○会長：最後に、その他を含めて、事務局からありましたらどうぞ。

○事務局：はい、2点お知らせをさせていただきたいと思います。既に何度かお話ししておりますが、今年度の改修工事として、ウッドデッキを設置する工事を開始いたします。ウッドデッキに出るための出入口として自動ドアをつけるんですけども、その工事がいよいよ今月末から始まります。工事をするための安全柵、仮囲いの工事のために、今月28日の9時半から13時まで、どうしても音が発生してしまうので、臨時に休館をさせていただきます。その後は、できるだけ休館せずに工事を進めていきたいと考えています。

また、新しい図書館の検討に当たりまして、シンポジウムを開催したいと考えております。まだ詳細は確定していませんが、12月ぐらいにアルスホールを利用しまして、市民の方に参加していただいて、有識者として呑海委員に御登壇いただくことを考えております。今のところですが、登壇者は、市長と呑海委員、それから専門の事業者の方に進行していただいたりとか、できましたら市民の方からも御意見をいただけるような内容で実施したいなと考えております。こちらも情報が確定しましたら、皆さんに御案内をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○会長：はい。ありがとうございました。ちょうど12時になりました。事務局の方へお返しします。

5 閉 会

○事務局：はい、会長、議事進行をありがとうございました。また委員の皆様におかれましては、長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。では、以上をもちまして令和7年度第2回図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

令和 7 年度第 2 回図書館協議会次第

令和 7 年（2025 年） 8 月 19 日（火）

午前 10 時～

つくば市立中央図書館 2 階 集会室

1 開 会

2 新任委員紹介

3 会長挨拶

4 議 事

- (1) 蔵書点検報告……資料 1
- (2) 令和 6 年度図書館運営上の指標に対する実績評価……資料 2
- (3) 令和 6 年度図書館利用者満足度調査結果報告……資料 3
- (4) 新図書館整備検討に関する簡易アンケート調査結果報告……資料 4
- (5) 先進事例視察報告……資料 5
- (6) その他

5 閉 会

令和7年度中央図書館蔵書点検報告書

1 実施概要

目 的：中央図書館及び自動車図書館に所蔵している全資料について点検を行い、資料の実際の所蔵状態を確認する。

実施期間：令和7年6月10日（火）～令和7年6月13日（金）

点検対象：中央図書館の全資料（視聴覚資料も含む）

自動車図書館の全資料

点 検 者：中央図書館職員・会計年度任用職員（※別紙1参照）

点検機器：ハンディターミナル 28台

2 作業内容

6月10日：中央図書館 書架・書庫点検

自動車図書館 車内・書庫点検

6月11日：中央図書館 書架（視聴覚含む）・書庫点検

6月12日：エラーリスト資料・不明候補資料の搜索

6月13日：ブックポスト返却資料及び配送資料の返却処理、開館準備

3 蔵書点検結果

不明資料点数：令和6年6月8日から令和7年6月13日までの間に不明となった資料数（別紙2参照）

総数：529点（所蔵冊数：321,797点）不明率：0.16%

[内訳] 中央図書館資料：484点（所蔵総数：281,097点）不明率：0.17%

自動車図書館資料：45点（所蔵総数：40,700点）不明率：0.11%

データ抽出の都合上、不明資料点数には、貸出処理が漏れたまま館外に持ち出された資料や、意図的に持ち去られた資料の数が含まれる。これらの資料が返却され

た場合には自動的に不明資料でなくなるため、点検日から日数が経過するにしたがって不明資料点数は徐々に減少していく。

例年、蔵書点検に伴う長期休館の前には特別貸出期間を設定しており、通常より貸出期間を長く設けている。今回の不明資料点数の集計は7月上旬時点で行っており、長期休館前に貸し出された資料は、貸出処理が漏れてしまったものも含めておおよそ返却された状態と思われる。

4 過年度の点検結果との比較

令和3年度から令和6年度までの点検結果との比較及び検討を行う。

① 不明資料点数について

通常、蔵書点検は毎年6月に実施している。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館対応を行ったため、未実施である。また、令和4年度は、図書館システムの更新に伴う休館の時期に合わせて9月に点検を実施している。

上記のことから、蔵書点検の対象期間が年度によって異なるため、不明資料点数を単純に比較することはできない。点検結果を年度間で比較するため、各年度の対象期間に合わせて月平均不明資料点数を算出した（別紙3参照）。各年度の対象期間は下記のとおりである。

- ・ 令和3年度：令和元年7月から令和3年6月（24 か月間）
- ・ 令和4年度：令和3年7月から令和4年9月（15 か月間）
- ・ 令和5年度：令和4年10月から令和5年6月（9 か月間）
- ・ 令和6年度：令和5年7月から令和6年6月（12 か月間）
- ・ 令和7年度：令和6年7月から令和7年6月（12 か月間）

各年度の不明資料点数を図1に示す。本年度の不明資料点数は529点であり、令和6年時の504点より25点増加した。

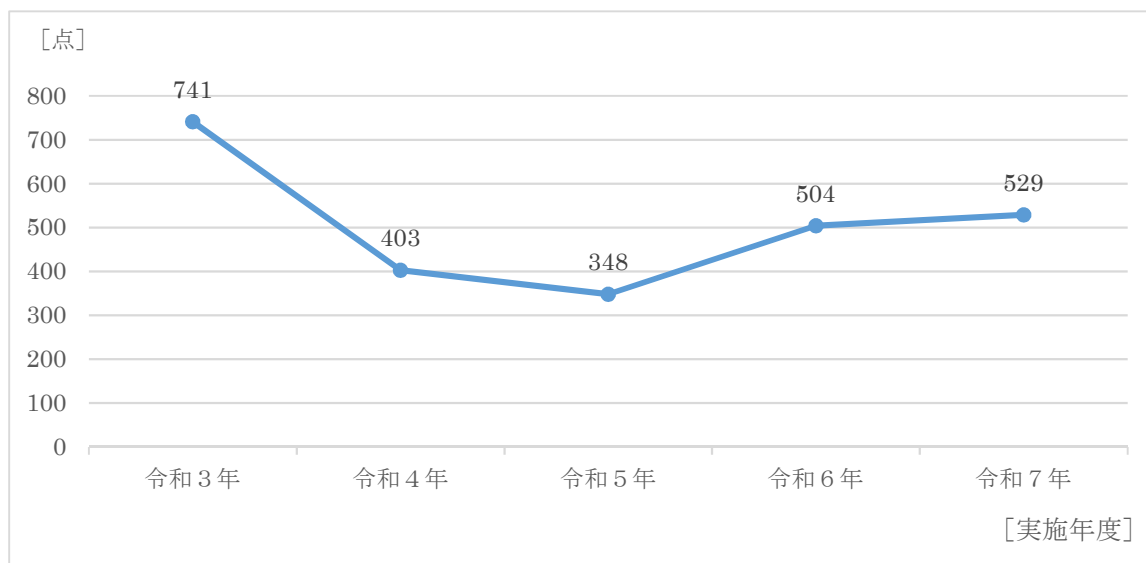


図1 各年度の不明資料点数

各年度の月平均不明資料点数を図 2 に示す。今回の蔵書点検の対象期間における月平均不明資料は 44.1 点であり、令和 6 年度の 42.0 点より約 2.1 点増加した。

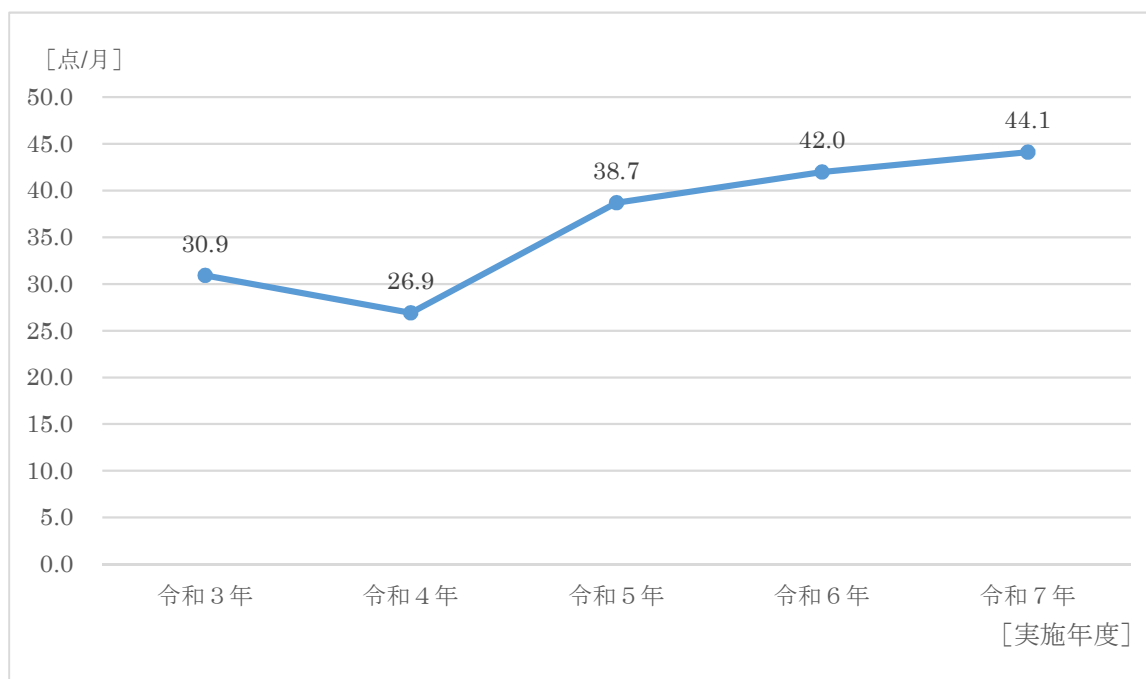


図2 各年度の月平均不明資料点数

※小数第 2 位を四捨五入

② 資料区分ごとの不明資料点数の増減について

別紙2より、前回点検時と比較して特に不明率が増加しているのは「外国語絵本」、「外国語児童」及び「市政資料」である。外国語絵本 0.17%、外国語児童 0.15%、市政資料 0.14%増加した。また、「参考図書」、「雑誌」についても前年度と比較して減少したものの、参考図書 0.52%、雑誌 0.41%と高い不明率となった。他区分についてはおおよそ例年どおりの数値である。

5 不明本の対策について

蔵書点検の結果から、不明となる資料が開架に多かった点（不明資料 529 点中、開架 439 点、書庫 45 点、自動車図書館資料 45 点だった）を踏まえると、不明資料の多くは利用者による持ち去りによるものと考えられる。当館では、持ち去りが多いと思われるジャンル及びシリーズの資料を書庫で保管したり、人気の高い文庫やコミックなどの資料を職員の目に付きやすいカウンターの前に配置したり、人気のある雑誌の最新号をカウンター内で保管するなどの対策をとっている。

持ち去りを少なくするためには、I C タグ及びB D S の導入が案として挙げられる。しかし、すぐに運用できるものではないため、費用や既存システムへの影響などについて検討する必要がある。

その他の対策として、館内の防犯ミラーや防犯カメラの設置が挙げられる。ミラーやカメラの設置により館内の死角を減少させ、持ち去りの抑止効果が期待できる。

自動車図書館車内及び書庫に関しても、リサイクル事業などを活用して適宜資料の入替えを行い、保管場所の確保や所在管理の徹底をしていく。

月 日	時 間	作 業 内 容	職員 動員数
6月10日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	28名
	9:30～10:00	蔵書点検の説明、蔵書点検機器の操作方法の説明	28名
	10:00～13:00	自動車図書館車内 蔵書点検	6名
	10:00～15:00	自動車図書館書庫 蔵書点検	7名
	10:00～16:30	中央図書館書庫 蔵書点検	9名 (絵本側: 5名 雑誌側: 4名)
	10:00～16:30	中央図書館書架 蔵書点検	6名
	16:30～17:00	ブックポスト返却資料の回収・分類	6名
	8:30～17:00	システム処理	1名
6月11日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	27名
	9:30～13:00	中央図書館視聴覚棚 蔵書点検	4名
	9:30～14:00	中央図書館書庫 蔵書点検	11名 (絵本側: 6名 雑誌側: 5名)
	9:30～16:30	中央図書館書架 蔵書点検	12名 + 11名(中央図書館書庫から合流) 4名(中央図書館視聴覚棚から合流)
	16:30～17:00	ブックポスト返却資料の回収・分類	6名
	8:30～17:00	システム処理	1名
6月12日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	25名
	9:30～11:30	自動車図書館車内・書庫、中央図書館書架・書庫 エラー本搜索	21名
	11:30～14:30	自動車図書館車内・書庫、中央図書館書架・書庫 不明候補資料搜索	16名
	14:30～17:00	開館準備	-
	8:30～17:00	システム処理	1名
6月13日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	20名
	9:30～15:30	ブックポスト返却資料・配送資料の返却処理・配架	16名
	15:30～17:00	開館準備	16名

蔵書点検結果

令和7年7月現在

1 不明資料点数

529点(所蔵総数:321,797点) 不明率 :0.16%

【内 訳】

・中央図書館資料:484点 (所蔵総数:281,097点) 不明率 :0.17%

・自動車図書館資料:45点 (所蔵総数:40,700点) 不明率 :0.11%

2 分類別不明率

(1) 中央図書館

資料区分	点検対象 (A)	不明資料点数 (B)	不明率 (B/A) %	前年度	前回点検と の比較
一般図書	136,603	289	0.21	0.21	0.00
文庫	17,715	41	0.23	0.19	▲ 0.04
ヤング (コミック, 文庫含む)	6,644	14	0.21	0.09	▲ 0.12
参考図書	5,949	31	0.52	0.56	0.04
地域資料	5,139	6	0.12	0.12	0.00
市政資料	1,994	5	0.25	0.11	▲ 0.14
教科書	440	0	0.00	0.25	0.25
児童図書	43,014	32	0.07	0.09	0.02
紙芝居	1,874	1	0.05	0.05	0.00
絵本	26,411	17	0.06	0.01	▲ 0.05
外国語一般	7,059	8	0.11	0.05	▲ 0.06
外国語児童	1,946	3	0.15	0.00	▲ 0.15
外国語絵本	1,803	3	0.17	0.00	▲ 0.17
視聴覚資料	13,070	0	0.00	0.01	0.01
雑誌	8,267	34	0.41	0.42	0.01
児童雑誌	3,169	0	0.00	0.00	0.00
合計	281,097	484	0.17	0.16	▲ 0.01

(2) 自動車図書館

資料区分	点検対象 (A)	不明資料点数 (B)	不明率 (B/A) %	前年度	前回点検と の比較
一般図書	13,777	11	0.08	0.10	0.02
児童図書	26,923	34	0.13	0.15	0.02
合計	40,700	45	0.11	0.13	0.02

(3) 雑誌について

盗難、切抜きの多発する一部の最新号は、書架に置かず中央カウンターで管理している。

カウンター保管 : 6種(総雑誌タイトル:212種)

蔵書点検結果 年度別比較表

資料区分		令和7年度			令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度			令和2年度		
		点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)
中央 図書館	一般図書	136,603	289	0.21	135,369	286	0.21	134,002	190	0.14	136,327	214	0.16	136,943	278	0.20	0	0	0.00
	文庫	17,715	41	0.23	17,584	34	0.19	17,706	20	0.11	17,049	36	0.21	16,046	212	1.32	0	0	0.00
	ヤング (コミック・文庫)	6,644	14	0.21	6,404	6	0.09	6,491	4	0.06	6,825	11	0.16	6,717	19	0.28	0	0	0.00
	参考図書	5,949	31	0.52	5,911	33	0.56	5,838	22	0.38	5,816	8	0.14	5,765	16	0.28	0	0	0.00
	地域・市政資料 ※1	7,133	11	0.15	6,937	8	0.12	6,905	8	0.12	6,849	10	0.15	6,599	3	0.05	0	0	0.00
	教科書	440	0	0.00	398	1	0.25	361	1	0.28	361	1	0.28	419	0	0.00	0	0	0.00
	児童図書 ※2	71,299	50	0.07	71,291	45	0.06	69,086	9	0.01	67,866	36	0.05	65,763	65	0.10	0	0	0.00
	外国語一般	7,059	8	0.11	7,669	4	0.05	7,589	6	0.08	7,513	12	0.16	7,447	15	0.20	0	0	0.00
	外国語児童 ※3	3,749	6	0.16	3,763	0	0.00	3,495	4	0.11	3,366	0	0.00	3,156	7	0.22	0	0	0.00
	視聴覚資料	13,070	0	0.00	13,174	1	0.01	13,194	0	0.00	13,014	0	0.00	13,623	1	0.01	0	0	0.00
	雑誌 ※4	11,436	34	0.30	11,210	34	0.30	11,141	32	0.29	11,844	21	0.18	11,071	19	0.17	0	0	0.00
	合計	281,097	484	0.17	279,710	452	0.16	275,808	296	0.11	276,830	349	0.13	273,549	635	0.23	0	0	0.00
自動車 図書館	一般図書	13,777	11	0.08	13,056	13	0.10	14,134	19	0.13	14,656	16	0.11	14,340	29	0.20	0	0	0.00
	児童図書	26,923	34	0.13	26,396	39	0.15	26,335	33	0.13	26,173	38	0.15	27,586	77	0.28	0	0	0.00
	合計	40,700	45	0.11	39,452	52	0.13	40,469	52	0.13	40,829	54	0.13	41,926	106	0.25	0	0	0.00
全資料合計		321,797	529	0.16	319,162	504	0.16	316,277	348	0.11	317,659	403	0.13	315,475	741	0.23	0	0	0.00
月平均 不明資料点数			44.1			42.0			38.7			26.9			30.9			-	

※1 地域・市政資料：地域資料と市政資料を合わせて算出した数値

※2 児童図書：児童図書と紙芝居と絵本を合わせて算出した数値

※3 外国語児童：外国語児童と外国語絵本を合わせて算出した数値

※4 雑誌：雑誌と児童雑誌を合わせて算出した数値

令和6年度指標に対する実績評価

指標の目標年度 令和8年度

評価期間 令和6年度～令和8年度

1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標（9項目）

No.	目 標 指 標	参考実績値			目標値	令和6年度 実績値	達成度	目標値の設定理由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
1-1	所蔵資料点数	483,263点	486,240点	492,183点	490,000点	501,905点	102.4%	所蔵資料の収容スペースが限界に近いため、現状の実績値を維持することを目標とする。
指標の 説明	中央図書館(自動車図書館を含む)、分室(※1)、閲覧所(※2)等で所蔵する資料(視聴覚資料・雑誌を含む)の点数。電子書籍は除く。							
評価	令和5年10月から研究学園小学校図書室、令和6年10月からみどりの南小学校図書室の地域開放事業を開始したため、資料点数が増加した(約4千点)。また、中央図書館、移動図書館、一部の分室(谷田部、小野川交流センター図書室)等で所蔵資料点数が微増し、目標達成に至っている。所蔵スペースは限界に近いため、今後も受入及び除籍により書架の充実を図っていく。							
1-2	受入資料点数	24,386点	24,020点	26,600点	28,000点	31,920点	114.0%	蔵書の入替えにより、書架の質を向上させる。中央図書館では年間約15,000冊を除籍している。
指標の 説明	中央図書館(自動車図書館を含む)、分室、学校図書室等で受入した資料の点数(視聴覚資料・雑誌を含む)。電子書籍は除く。							
評価	令和5年10月から研究学園小学校図書室、令和6年10月からみどりの南小学校図書室の一般開放事業を開始したため、受入資料点数が増加した(約4千点)。また、中央図書館、移動図書館で受入点数が増加しており、目標達成に至っている。所蔵スペースは限界に近いため、今後も受入及び除籍により書架の充実を図っていく。							
1-3	個人貸出点数	1,376,860点	1,481,648点	1,498,017点	1,550,000点	1,451,468点	93.6%	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。令和元年度から令和4年度の増加点数(約53,000点)を考慮し、令和5年度の実績値から算出した。サービスポイントの新設や人口増から、今後も増加が見込まれる。
	(参考) 電子書籍分を加算した貸出点数	1,376,860点	1,488,234点	1,511,181点	-	1,497,925点	-	
指標の 説明	中央図書館(自動車図書館・配本所を含む)、分室、閲覧所等で個人へ貸出した資料の点数(視聴覚資料・雑誌を含む)。電子書籍及び団体貸出は除く。							
評価	令和6年度は、令和5年度と比較して約4.6万点減少している。特に中央図書館と移動図書館の減少幅が大きく、中央図書館は約4.3万点、移動図書館は約9千点減少した。中央図書館では、令和6年7月から翌年3月にかけて、建物の外壁工事に伴い大きな工事音が発生した期間があったことが影響した可能性がある。移動図書館に関しては、夏季休業期間及び熱中症警戒アラート発生時の運休による影響が考えられる。筑波交流センター図書室でも7千点以上減少しており、年度当初から6月末にかけて工事に伴う休室期間のあったことが要因として考えられる。 また、電子図書館を特に利用している0～12歳、30代の年代で大きく貸出点数が減少しており、電子図書館の利用増との関連性も注視していく必要がある。							
1-4	視聴覚資料貸出点数	51,962点	52,270点	50,195点	70,000点	46,651点	66.6%	近年動画・音楽配信サービス等の普及が進んだためか、著しく減少している。新型コロナウイルス感染症流行前の水準(約70,000点)に戻すことを目標とする。令和7年1月から貸出期間が1週間から2週間に変更になるため、その影響を注視していく。
指標の 説明	CD・DVD・VHSビデオ等の視聴覚資料の貸出点数							
評価	令和6年度は、令和5年度と比較して約3千点減少している。令和7年1月から視聴覚資料の貸出期間が2週間に変更されたが、このことによる影響は不明である。減少の要因としては、1-3個人貸出点数の減少が影響している可能性がある。また、動画配信サービスが普及したことによるニーズの変化も考えられる。引き続き展示などを通してより多くの利用者に利用してもらえるよう取り組んでいく。							
1-5	市民一人当たりの 貸出点数	5.6点	5.9点	5.9点	6.0点	5.6点	93.3%	人口20～30万人都市の平均値5.06点(「日本の図書館2022」)を考慮し、現状維持の上、やや増加させるものとして目標値を設定した。
指標の 説明	中央図書館(自動車図書館・本庁舎コミュニティ棟・かとりだい交流館を含む)、分室、閲覧所等で個人へ貸出した資料の点数(1-3個人貸出点数)を9月1日現在の常住人口で除して算出した、市民一人当たりの貸出点数							
評価	令和6年度は、令和5年度と比較して常住人口が増加し(令和5年度から約4千人増加)、1-3個人貸出点数が減少した結果、一人当たりの貸出点数が減少している。所蔵資料が有効に活用されるよう、サービスを充実させていく。							

※1「分室」: 中央図書館とシステム上連携している谷田部・筑波・小野川・荻崎交流センター図書室

※2「閲覧所」: 地域に開放し図書館サービスの提供を行う研究学園小学校図書室・みどりの南小学校図書室

令和6年度指標に対する実績評価

No.	目 標 指 標	参考実績値			目標値	令和6年度 実績値	達成度	目標値の設定理由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
1-6	電子図書館への アクセス件数	-	21,296件	31,836件	240,000件	173,169件	72.2%	令和6年6月に市内児童生徒約23,000人に対して電子図書館用のIDパスワードを配布したため、著しく増加することが見込まれる。令和6年9月～11月の平均は約17,000件/月。20,000件×12か月を目標とする。
指標の 説明	電子図書館へのアクセス件数(学校利用を含む)							
評価	令和6年6月から開始した電子図書館の学校利用促進事業により、電子図書館の利用が飛躍的に増加した(5月:2,969件、6月:23,218件)。夏季休業期間の後、毎月約1.5万件で安定している。引き続き学校との連携に努め、未利用者へのPRを行っていく。							
1-7	電子書籍資料 所蔵点数 (閲覧可能点数)	-	1,468点	3,553点	5,000点	4,864点	97.3%	中央図書館における所蔵資料の収容スペースに限界があるため、電子書籍の充実を図ることで図書館サービスの充実を目指す。また、非来館型サービスを提供することにより利用者の利便性の向上を図る。
指標の 説明	電子図書館で閲覧可能な電子書籍の点数(年度末時点での有効点数)							
評価	令和6年6月から開始した電子図書館の学校利用促進事業に伴い、コンテンツを増やした結果、令和5年度の約1.4倍の所蔵点数とすることができた。今後も閲覧可能なコンテンツ数を保ち、電子図書館の利用を定着させていく。							
1-8	電子書籍資料 貸出点数	-	6,586点	13,164点	60,000点	46,457点	77.4%	令和6年6月に市内児童生徒約23,000人に対して電子図書館用のIDパスワードを配布したため、著しく増加することが見込まれる。令和6年9月～11月の平均は、約4,500点/月。5,000点×12か月を目標とする。
指標の 説明	電子書籍の貸出点数(学校利用を含む)							
評価	令和6年6月から開始した電子図書館の学校利用促進事業により、電子図書館の利用が飛躍的に増加した(5月:1,449点、6月:4,666点)。夏季休業期間の後も毎月4,000点以上の貸出があることから、学校利用促進事業をきっかけとして、電子図書館の利用が定着しつつあると思われる。引き続き学校との連携に努め、未利用者へのPRを行っていく。							
1-9	電子書籍資料 閲覧点数	-	16,600点	32,033点	420,000点	292,861点	69.7%	令和6年6月に市内児童生徒約23,000人に対して電子図書館用のIDパスワードを配布したため、著しく増加することが見込まれる。令和6年9月～11月の平均は、約29,000点/月。35,000点×12か月を目標とする。
指標の 説明	電子書籍の閲覧点数(学校利用を含む)							
評価	令和6年6月から開始した電子図書館の学校利用促進事業により、電子図書館の利用が飛躍的に増加した(5月:3,187点、6月:41,241点)。夏季休業期間の後も毎月25,000点前後の閲覧数があり、学校利用促進事業をきっかけとして、電子図書館の利用が定着しつつあると思われる。引き続き学校との連携に努め、未利用者へのPRを行っていく。							

2 市全体へのサービスに関する指標 (8項目)

No.	目 標 指 標	参考実績値			目標値	令和6年度 実績値	達成度	目標値の設定理由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
2-1	来館者数	435,851人	478,875人	455,178人	500,000人	554,215人	110.8%	新型コロナウイルス感染症流行前の実績(令和元年度:約560,000人)を考慮し、増加させることを目標とする。一方、サービスポイントが増加したことに伴い、利用が中央図書館以外に分散することが考えられる。
指標の 説明	中央図書館に来館した延人数							
評価	目標を達成しており、新型コロナウイルス感染症流行前(令和元年度:約56万人)に迫る勢いである。令和6年2月に視聴覚コーナーの一部を改修し、電源付きの閲覧席を増設したことによる影響も考えられる。(令和5年度は、入館者カウンター機器の故障により、46日間計測不可であった時期がある。)							

令和6年度指標に対する実績評価

No.	目 標 指 標	参考実績値			目標値	令和6年度 実績値	達成度	目標値の設定理由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
2-2	図書館利用カード 実利用者数	28,342人	30,326人	31,111人	35,000人	30,891人	88.3%	平成30年度以降、30,000人前後で推移している。市民の図書館利用促進に努める。
指標の 説明	1年間に図書館利用カードを利用して資料を借りた人数(1人の人が複数回利用した場合は1人と計算。団体貸出を除く)							
評価	年々増加傾向にあったが、令和6年度は令和5年度の実績を下回った。利用しやすい図書館運営に努めるとともに、図書館の新規・継続利用につなげるイベント等を企画し、多くの市民の図書館活用の促進を図っていききたい。							
2-3	新規登録者数	5,896人	6,820人	6,826人	7,000人	6,467人	92.4%	毎年度6,000人前後で推移している。転入者や図書館未利用者等に対するPRIに努め、図書館利用者を増加させていく。
指標の 説明	新たに図書館利用カードを作成した人数							
評価	令和6年度は令和5年度を下回ったものの、近年6,500人前後で推移している。近年、サービスポイントの増設、広域利用(他自治体との連携)、電子図書館サービスの開始など、図書館サービスを利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。市人口が増加していることも踏まえ、更なる新規利用者の獲得に向けてPRIに努めていく。							
2-4	所蔵館以外への 返却冊数	151,107冊	159,776冊	167,733冊	185,000冊	162,264冊	87.7%	サービスポイントや自動車図書館ステーションの増設に伴い、増加傾向にある。令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。
指標の 説明	所蔵館(中央図書館、自動車図書館、分室、学校図書室)以外に返却された図書資料の冊数							
評価	令和6年度は令和5年度を下回ったものの、個人貸出の約1割が所蔵館(本籍館)以外に返却されており、サービスポイントがある程度活用されていると評価できる。広大なつくば市において、資料を気軽に貸出・返却できるよう、引き続き利便性の向上を図っていく。							
2-5	ブックポストへの 返却冊数	29,850冊	37,112冊	58,500冊	65,000冊	70,948冊	109.2%	サービスポイントや自動車図書館ステーションの増設に伴い、増加傾向にある。令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。
指標の 説明	各ブックポストに返却された図書資料の冊数							
評価	目標を達成しており、ブックポストへの返却が予想を超えて増加している。近年新設した、かとりだい交流館(令和5年6月)及びみどりのプール(令和6年10月)の他、市庁舎コミュニティ棟への返却が特に増加している。つくばエクスプレス沿線地区及び研究学園地区に居住する市民の利用が増加していると考えられる。							
2-6	予約件数	167,352件	180,325件	208,444件	230,000件	219,813点	95.6%	平成30年度から4交流センター図書室の在架資料が予約できるようになり、大きく増加した。近年は図書館ホームページからの予約等、インターネットサービス全般の利用が拡大傾向にある。サービスポイントの増設によりさらに増加することが見込まれる。
指標の 説明	中央図書館、自動車図書館、分室及びホームページからの予約受付件数							
評価	予約件数は年々増加している。近年増設された配本所(市庁舎コミュニティ棟・かとりだい交流館予約本受取窓口)や閲覧所(研究学園・みどりの南小学校図書室)などへの取り寄せが増加したことが要因として考えられる。一方で、借りたい資料がその場になく、予約をしないと借りることができないという利用者の声もあるため(図書館利用者満足度調査など)、予約件数の増加を好意的に捉えて良いか否かは議論の余地がある。							
2-7	図書館ホームページ へのアクセス件数	445,989件	580,449件	825,729件	900,000件	899,478件	99.9%	令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。令和4年度以降、インターネットサービスの利用拡大と電子図書館サービス(令和4年10月開始)の影響を受け、急速に増加している。
指標の 説明	図書館ホームページへのアクセス件数							
評価	近年急速に増加しており、早くも目標を達成しつつある。令和6年6月に電子図書館の学校利用促進事業が開始されたことに伴い、ホームページへのアクセスも増加していると考えられる。また、令和7年7月に図書館ホームページのリニューアルを行ったため、ホームページがさらに活用されることが期待される。							

令和6年度指標に対する実績評価

No.	目 標 指 標	参考実績値			目標値	令和6年度 実績値	達成度	目標値の設定理由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
2-8	図書館情報紙の発行回数	8回	7回	18回	10回	10回	100.0%	「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」(年2回)、「としよかんの本」(年4回)、パスファインダー(不定期、年2回程度)を発行・改訂することにより、図書館や資料に対する市民の理解と関心を高める。
指標の説明	市民向けの図書館情報紙(「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」「としよかんの本」「パスファインダー」等)の発行回数							
評価	令和6年度は、図書館情報紙「ヨモッカ」を2回、「こどもヨモッカ」を2回、所蔵資料の紹介紙「としよかんの本」を4回、テーマ別に資料の調べ方や参考資料を紹介する情報紙・パスファインダーを2回発行した。引き続き、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、図書館の利用促進を図る。							

3 高齢者、障害のある方及び外国の方へのサービスに関する指標 (5項目)

No.	目 標 指 標	参考実績値			目標値	令和6年度 実績値	達成度	目標値の設定理由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,784冊	2,797冊	2,845冊	3,000冊	2,808冊	93.6%	令和5年度の目標値を継続する。徐々に増加傾向にあるが、資料の収蔵スペースが限界に近い。大活字本の計画的な蔵書管理に努め、高齢の方や利用に障害のある方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の所蔵冊数							
評価	徐々に増加傾向にあったが、令和6年度は令和5年度と比べ、やや減少した。資料の所蔵スペースには限界があるため、厳選の上、資料の量と質の確保に努める。							
3-2	大活字本の貸出冊数	2,275冊	3,028冊	2,917冊	3,300冊	2,587冊	78.4%	徐々に増加傾向にある。令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やPRに努め、高齢の方や利用に障害のある方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の年間貸出冊数							
評価	2年連続で減少している。電子図書館における電子書籍では、文字のサイズを利用者自身で調整でき、読み上げ機能付きの資料も多数所蔵しているため、大活字本を必要とする利用者を対象に電子書籍の利用についても促進していきたい。							
3-3	外国語資料の所蔵冊数	11,028冊	11,208冊	11,662冊	12,000冊	11,503冊	95.9%	令和5年度の目標値を継続する。徐々に増加してはいるが、資料の収蔵スペースが限界に近い。一定以上の水準を維持し、多言語サービスの充実を図る。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめとする外国語資料(児童書及び一般書)の所蔵冊数							
評価	令和6年度は令和5年度と比べてやや減少した。所蔵スペースは限界に近いため、厳選の上、引き続き資料の量と質の確保に努める。つくば市は、外国人居住者の割合が全国平均よりも高く、今後も外国人居住者数は増加すると思われる。							
3-4	外国語資料の貸出冊数	10,858冊	11,206冊	11,611冊	12,000冊	10,596冊	88.3%	令和5年度の目標値を継続する。外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実に努め、外国語資料の貸出増を図る。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめとする外国語資料(児童書及び一般書)の年間貸出冊数							
評価	年々増加傾向にあったが、令和6年度は令和5年度と比べて減少した。個人貸出点数全体が減少しており、外国語資料に関しても同様に減少していると言える。今後も外国語資料の充実に努めるとともに、外国語資料を活用したイベント等を企画するなどして、利用増を図りたい。							
3-5	点字資料の所蔵点数	238点	246点	251点	270点	261点	96.7%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、図書館資料の利用に障害のある方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館のボランティアが作成した点字資料と購入した点字資料の所蔵点数							
評価	年々増加している。引き続き、点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに、計画的に点字資料を購入することでサービスの充実を図りたい。							

令和6年度指標に対する実績評価

4 地域支援サービスに関する指標（3項目）

No.	目 標 指 標	参考実績値			目標値	令和6年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
4-1	自動車図書館利用人数	9,677人	12,316人	13,841人	14,000人	11,287人	80.6%	令和5年度の目標値を継続する。自動車図書館ステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)の年間貸出人数							
評価	令和6年度も新たなステーションの見直し等、市内全域への図書館サービスの提供を図ってきたが、目標達成には至らなかった。地域が広いつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、引き続きステーションの見直しや自動車図書館の情報発信やイベントへの出展を企画していき、更なるサービスの拡充を図る。							
4-2	自動車図書館貸出冊数	37,244冊	43,337冊	47,583冊	53,000冊	38,457冊	72.6%	令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。自動車図書館資料の充実を努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図る。
指標の説明	自動車図書館(3台)の年間貸出冊数							
評価	目標値の達成には至らなかったが、引き続き、利用者層をニーズを反映させた図書の購入、積載図書の選書を行うなど資料の充実を図り、自動車図書館での貸出増加を図る。							
4-3	相互貸借貸出冊数	1,862冊	1,743冊	1,420冊	1,500冊	1,466冊	97.7%	近年、1,500冊前後で推移している。令和5年度の目標値を継続する。利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供する。
指標の説明	図書館が所蔵していない資料で、利用者の希望を受けて他市等の図書館から借受して貸出を行った資料冊数							
評価	令和5年度までは減少傾向にあったが、令和6年度はやや増加した。今後も、利用者が希望する資料にアクセスできるよう、サービスの周知を図るとともに、潜在的ニーズも掘り起こせるよう情報提供をしていきたい。							

5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標（4項目）

No.	目 標 指 標	参考実績値			目標値	令和6年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
5-1	レファレンス受付件数	1,440件	1,458件	1,446件	1,500件	1,474件	98.3%	近年、1,400件前後で推移している。利用者の調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館のカウンター、電話、電子メール等で受付をしたレファレンス件数							
評価	近年は1,450件前後で推移しており、令和5年度と比較してわずかに増加しているが、目標値には達していない。サービスの周知を図るとともに、研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図ることで図書館サービスの充実に努めたい。							
5-2	ボランティア登録者数	166人	156人	151人	160人	164人	102.5%	例年160人程度を定員とし、募集を締め切っている。多様なボランティア活動の機会や場所を提供し、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティアに登録した人数(複数のボランティアに登録している場合も1人として計算)							
評価	目標を達成した。令和6年度図書館ボランティアは、令和6年3月1日に募集を開始し、応募多数のため5月上旬で募集を締め切った。引き続き、ボランティアの皆様と共に図書館サービスの充実を図っていく。							

令和6年度指標に対する実績評価

No.	目 標 指 標	参考実績値			目標値	令和6年度 実績値	達成度	目標値の設定理由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
5-3	ボランティア活動者数	1,557人	1,906人	1,918人	2,000人	2,116人	105.8%	令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。多様なボランティア活動の機会や場所を提供し、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の 説明	中央図書館の各ボランティア活動に参加した延人数							
評価	例年より大幅に増加し、目標値を達成している。令和5年度と比較すると、児童サービス、修理、地域文化、地域資料ボランティアの活動者数が増加している。特に、児童サービスは100人以上増加しており、児童図書配架などの日頃の活動に対し積極的に取り組んでいただけている。							
5-4	ボランティア等による おはなし会等開催回数	104回	152回	192回	160回	183回	114.4%	おはなしボランティアによるおはなし会(月9回)、図書館職員によるおはなし会(月4回、8月なし)、地域文化ボランティアによるブックトーク等(月2回)、おはなしボランティアによる人形劇・パネルシアター(年2回)、その他様々な形式のおはなし会を随時開催し、読書推進を図る。
指標の 説明	図書館ボランティア・図書館職員が実施したおはなし会・ブックトーク・パネルシアター等の開催回数(学校訪問ブックトーク事業については積算しない。)							
評価	令和6年度は、概ね年度当初の予定通りにおはなし会を実施し、目標値の達成に至った。今後も定期的なおはなし会を実施していく、図書館の利用促進を図る。また、令和6年度は、イベント「ライブラリーピクニック」や「ぬいぐるみたちのおとまり会」におけるおはなし会も実施できた。							

6 学校図書館等支援に関する指標（6項目）

No.	目 標 指 標	参考実績値			目標値	令和6年度 実績値	達成度	目標値の設定理由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
6-1	団体貸出利用回数	120回	126回	100回	200回	107回	53.5%	令和5年度の目標を継続し、新型コロナウイルス感染症流行前の水準(令和元年度:約250回)に戻すことを目標とする。
指標の 説明	団体貸出を利用した団体の延利用回数							
評価	令和5年度からわずかに増加したものの、目標には達しなかった。読み聞かせ用の本等を個人のカードで借りていく利用者も一定数いることから、団体貸出サービスの周知を進めるとともに、利用しやすい環境を整えていく。							
6-2	団体貸出図書冊数	7,212冊	8,187冊	8,703冊	10,000冊	8,376冊	83.8%	新型コロナウイルス感染症流行前の水準(令和元年度:約10,000冊)に戻すことを目標とする。
指標の 説明	保育所・幼稚園・小学校・児童クラブ・福祉施設等の団体に対しての図書の貸出冊数(1回につき1団体300冊まで3か月間貸出可能)							
評価	近年増加傾向にあったが、令和6年度は減少した。利用回数は増加したことから、1回あたりの貸出冊数が減少したと考えられる。魅力ある図書を揃えとともに、選書、貸出、返却のしやすい環境作りを進めていく。							
6-3	社会科見学等の 図書館見学受入回数	4回	6回	5回	10回	6回	60.0%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の 説明	保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校・特別支援学校等による図書館見学の受入回数							
評価	実施可能な場合には積極的に受入れを行っているが、依頼が少なく、目標には達しなかった。引き続き、積極的に受入れを行っていくことで図書館を身近に感じてもらい、幼児、児童の読書推進を図りたい。							
6-4	職場体験学習 受入人数	0人	16人	25人	40人	37人	92.5%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の 説明	8年生(中学2年生)を対象とした職場体験の場として、中央図書館で図書館業務の体験学習を受け入れた生徒の人数							
評価	令和3年度までは新型コロナウイルス感染症の流行により職場体験の受入れを中止していたが、令和4年度から実施を再開している。令和6年度も目標値の達成には至らなかったが、前年度より受入人数は大幅に増加した。今後も積極的に受け入れることで図書館を身近に感じてもらい、中学生の読書推進を図りたい。							

令和6年度指標に対する実績評価

No.	目 標 指 標	参考実績値			目 標 値	令和6年度 実績値	達成度	目 標 値 の 設 定 理 由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
6-5	ジュニア図書館員 受入人数	0人	0人	56人	75人	42人	56.0%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
指標の 説明	5年生から6年生を対象にした体験型事業「ジュニア図書館員」に参加した児童の人数							
評価	令和4年度まで新型コロナウイルス感染症の流行により実施を見送っていたが、令和5年度から内容を一新して再開し、2～3回程度のイベントとして実施している。参加人数を増加させるためには、定員及び回数を増加させる必要があるが、現状対応することは困難である。							
6-6	学校司書等の 研修参加人数	49人	51人	51人	50人	50人	100.0%	学校図書館との連携を強化し、学校司書の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。 (令和6年度学校数:50校、学校司書人数:56人)
指標の 説明	学校司書等を対象に実施される研修の参加人数							
評価	令和6年度は対面で、初任者のみの内容と受講者全体を分けた内容で実施した。現在は学校司書を対象に1回のみ実施しているが、今後は回数や対象の設定を拡大させることで、さらなる連携に努めたい。							

7 市民満足度に関する指標（1項目）

No.	目 標 指 標	参考実績値			目 標 値	令和6年度 実績値	達成度	目 標 値 の 設 定 理 由
		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
7-1	利用満足度調査の 満足度	78%	90%	83%	80%以上	83%	103.9%	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。令和5年度までは中央図書館の利用者のみを調査対象としていたが、令和6年度以降、調査対象を広げて実施予定。
指標の 説明	図書館利用者に対して図書館サービスについての満足度調査を実施し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合							
評価	令和5年度までは、調査対象を中央図書館利用者のみとしていたが、令和6年度からは分室や配本所（予約本受取窓口）、閲覧所（学校開放事業を実施している小学校図書室）の利用者も対象とした。満足度は令和5年度から変動なく、目標値を達成している。図書館の改修に向けた利用者の意見や要望、その他自由記入欄への意見や要望をもとに改善できるところから取り組んでいき、今後も利用者目線での図書館サービス向上を目指していきたい。							

令和6年度 つくば市立図書館利用者満足度調査 結果報告書

■ 「つくば市立図書館利用者満足度調査」について

図書館利用者の利用実態や満足度を調査し、図書館運営に生かすための基礎資料として活用するもの。

例年、中央図書館利用者を対象にアンケート用紙による調査を実施していたが、令和5年度から電子申請による回答も可能とし、令和6年度(今回)から中央図書館以外のサービスポイントの利用者も調査対象とした。

■ 調査概要

(1) 調査期間

令和7年(2025年)2月20日(木)から3月23日(日)まで(32日間)

※ うち、中央図書館開館日数は26日間。小学校図書室の開室日は11日間。

(2) 調査方法

I. アンケート用紙

中央図書館、分室(谷田部・筑波・小野川・荃崎交流センター図書室)、閲覧所(研究学園・みどりの南小学校図書室)で配布及び回収

※ 配本所(つくば市庁舎コミュニティ棟・かとりだい交流館予約本受取窓口)では、アンケート用紙ではなくQRコードの掲載されたチラシを配布し、インターネットでの回答を促した。

II. いばらき電子申請・届出サービス(インターネット)

(3) 対象

つくば市立図書館の利用者、つくば市内に在住・在学・在勤する者

(4) 周知方法

館内ポスター・モニターによる掲示、チラシ配布、つくば市立図書館ホームページ、つくばスマートシティアプリ「つくスマ」、一部窓口での声かけなど

(5) 回答数

回答方法	回答数(件)
I アンケート用紙	160
II インターネット	318
合計	478

■ 調査結果

(1) 回答方法・回答場所ごとの回答数

インターネットによる回答が多く、アンケート用紙の約2倍の回答数が得られた。

アンケート用紙の回収場所としては中央図書館が約半数(160人中 75人)を占めており、次いで筑波交流センター図書室、小野川交流センター図書室が多くなっている(表1・図1)。筑波及び小野川交流センター図書室においては、貸出等を行う窓口で職員から利用者に対して声かけやアンケート用紙の手渡しがあったため、回収枚数の増加につながったと考えられる。

表 1 回答方法・回収場所ごとの回答数

回答方法	回収場所	回答数(人)
アンケート用紙	中央図書館	75
	筑波交流センター図書室	39
	小野川交流センター図書室	28
	谷田部交流センター図書室	6
	荳崎交流センター図書室	6
	みどりの南小学校図書室	6
	研究学園小学校図書室	0
	小計	160
インターネット	-	318
	合計	478

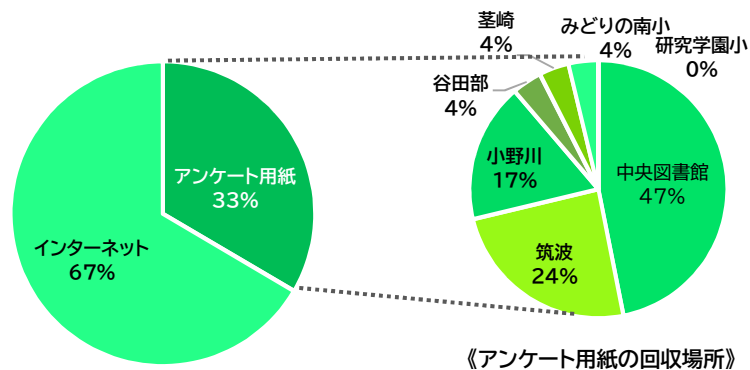


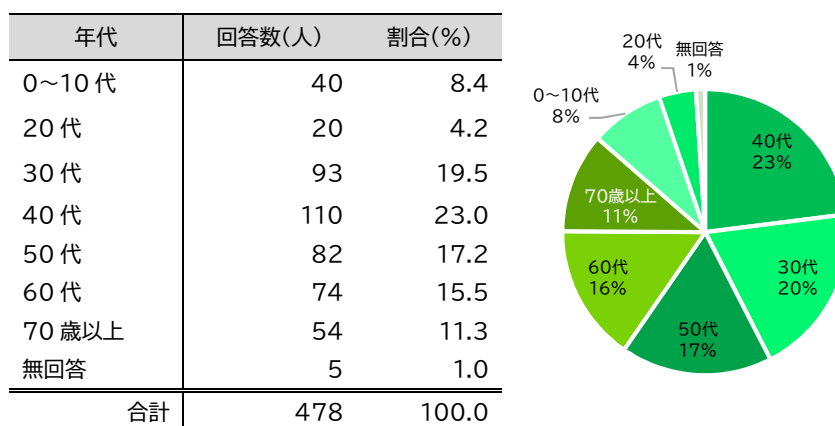
図 1 回答方法・アンケート用紙の回収場所ごとの割合

(2) 回答者の属性

i. 年齢層

回答者の年齢層は、40代が最も多く、30代から60代までの年代を合わせると全体の4分の3を占める。一方、20代の回答数が最も少なく、わずか4%となっている(表2・図2)。

表2・図2 回答者の年齢層とその割合



回答方法及びアンケート用紙の回収場所ごとの回答者の年齢層については、表3のとおりである。40代のインターネットによる回答が最も多く、全体の約2割を占める。アンケート用紙については、中央図書館における0歳から10代までと60代、筑波交流センター図書室における70歳以上による回答が比較的多くなっている。

表3 回答方法・回収場所ごとの回答者の年代

回答方法・回収場所 ／回答者の年代	0～ 10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳 以上	無回答	総計(人)
アンケート用紙(中央)	22	1	10	11	7	14	8	2	75
アンケート用紙(筑波)	1	-	2	4	6	7	19	-	39
アンケート用紙(谷田部)	3	-	-	1	1	-	1	-	6
アンケート用紙(小野川)	1	1	1	2	7	9	7	-	28
アンケート用紙(荃崎)	-	-	-	-	2	2	2	-	6
アンケート用紙(みどりの南)	4	-	1	-	-	-	1	-	6
インターネット	9	18	79	92	59	42	16	3	318
総計(人)	40	20	93	110	82	74	54	5	478
割合(%)	8.4	4.2	19.5	23.0	17.2	15.5	11.3	1.0	100

ii. 居住地

回答者 478 人のうち、約9割がつくば市内と回答した(図3)。「つくば市外」と回答した 13 人については、近隣自治体である土浦市が4人、牛久市が3人と多かった。

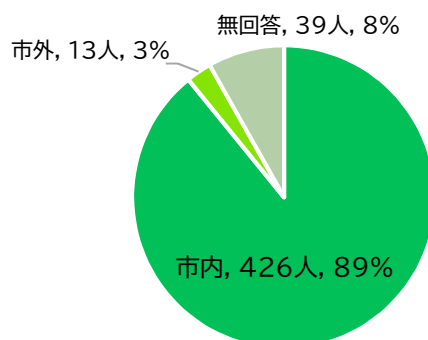


図3 回答者の居住区分

iii. 利用カードの有無・登録区分

回答者 478 人のうち、98%は利用カードを所持している利用登録者であった。利用カードを所持している回答者 467 人の登録区分は、「市内在住」がほとんどであった。

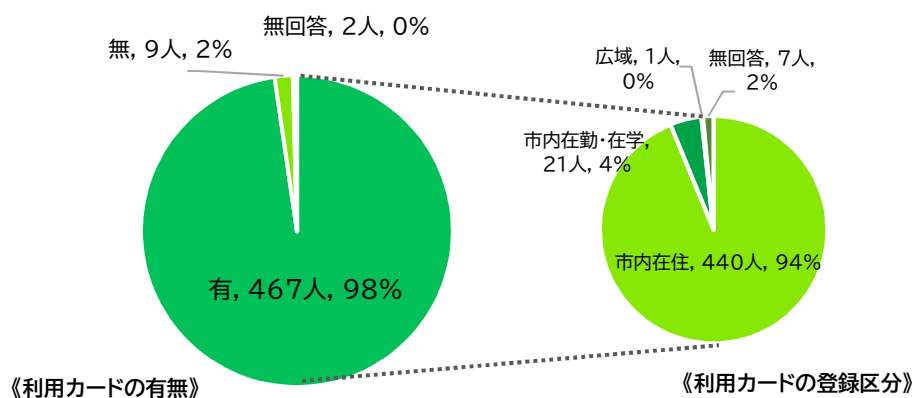


図4 利用カードの有無／登録区分

(3) 図書館の利用実態

i. 最も利用するサービスポイント(択一式)

回答者が最も利用しているサービスポイントは、中央図書館が 44%と多いが、小野川及び筑波交流センター図書室や、市庁舎コミュニティ棟予約本受取窓口も1割以上となっていた(表4)。

表 4 最も利用するサービスポイント

サービスポイント	回答数(人)	割合(%)
中央図書館	211	44.1
小野川交流センター図書室	72	15.1
筑波交流センター図書室	65	13.6
コミュニティ棟	57	11.9
谷田部交流センター図書室	26	5.4
荃崎交流センター図書室	11	2.3
かとりだい交流館	9	1.9
研究学園小学校図書室	8	1.7
みどりの南小学校図書室	6	1.3
自動車図書館	5	1.0
利用していない	5	1.0
その他	2	0.4
無回答	1	0.2
合計	478	100.0

また、回答方法及びアンケート用紙の回収場所ごとに内訳を算出した(表5)。アンケート用紙の回収場所と最も利用するサービスポイントは、おおむね同じ場所となっているが、それらが一致しないケースが複数件見られた。特に、アンケート用紙の回収場所は中央図書館以外の分室だが、最も利用するサービスポイントは中央図書館としている回答者が7人いた。中央図書館と分室を併用している利用者がいることがうかがえる。

表 5 回答方法・アンケート用紙の回収場所と最も利用するサービスポイント(人)

		回答方法・アンケート用紙の回収場所							合計
		用紙 (中央)	用紙 (谷田部)	用紙 (小野川)	用紙 (荃崎)	用紙 (筑波)	用紙 (みどりの南)	インター ネット	
最も 利用 する サー ビス ポイ ント	中央図書館	69	3	1	-	3	-	135	211
	谷田部交流センター図書室	1	3	-	-	-	-	22	26
	小野川交流センター図書室	-	-	27	-	-	-	45	72
	荃崎交流センター図書室	1	-	-	6	-	-	4	11
	筑波交流センター図書室	-	-	-	-	36	-	29	65
	コミュニティ棟	-	-	-	-	-	1	56	57
	かとりだい交流館	-	-	-	-	-	-	9	9
	研究学園小学校図書室	-	-	-	-	-	-	8	8
	みどりの南小学校図書室	-	-	-	-	-	5	1	6
	自動車図書館	1	-	-	-	-	-	4	5
	利用していない	1	-	-	-	-	-	4	5
	その他	1	-	-	-	-	-	1	2
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	1
合計		75	6	28	6	39	6	318	478

ii. 主な利用目的

図書館や図書室などに来館する主な目的については、本や雑誌など資料の貸出を選択する回答者が多く、9割を超えている。一方、館内で資料を閲覧すること(4.4%)、勉強や調べものをする(2.7%)の回答はわずかであった。

表 6 主な利用目的

主な利用目的	回答数(人)	割合(%)
本や雑誌などを借りる	436	91.2
図書館・図書室等の中で本や雑誌を読む	21	4.4
勉強や調べものをする	13	2.7
その他 ※	3	0.6
複数回答	1	0.2
無回答	4	0.8
合計	478	100.0

※その他3件……本・雑誌以外の資料の閲覧

iii. 館内での滞在時間

館内における滞在時間は、「10～30分」の回答が最も多く、全体としても1時間以内とする回答者は多い(図5)。

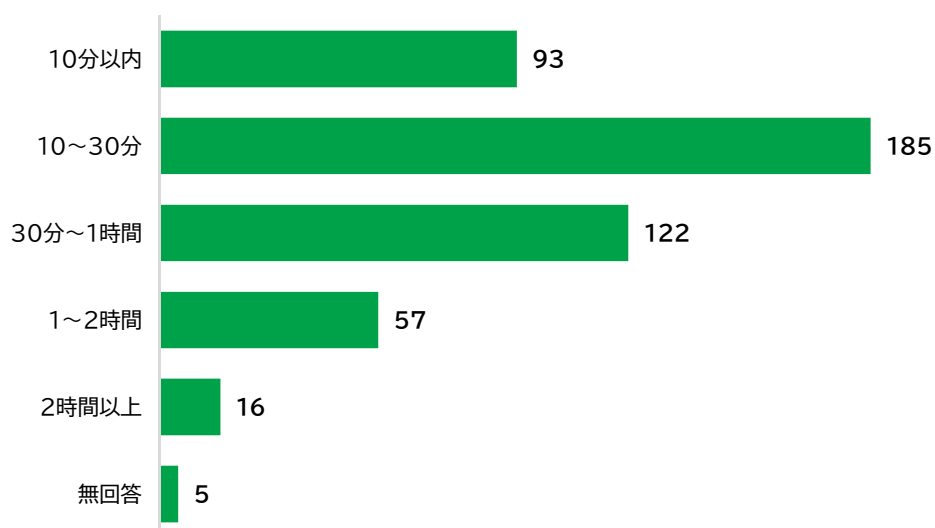


図 5 館内での滞在時間(人)

また、「最も利用するサービスポイント」ごとに滞在時間の内訳を算出したところ、市庁舎コミュニティ棟、かとりだい交流館の予約本受取窓口などで「10分以内」の回答が多くなっていた(表7)。これについては、予約本受取窓口の利用者が、予約本受取窓口における所要時間を回答した可能性が考えられる。

一方、最も利用するサービスポイントとして中央図書館を選択した回答者においては、他のサービスポイントよりも比較的長時間滞在する人が多かった。

表 7 最も利用するサービスポイントと滞在時間(人)

★……予約本受取窓口							
	10分以内	10～30分	30分～1時間	1～2時間	2時間以上	無回答	総計
中央図書館	6	70	76	45	13	1	211
小野川交流センター図書室	22	41	7	2	-	-	72
筑波交流センター図書室	14	34	13	3	1	-	65
★コミュニティ棟	37	11	6	2	1	-	57
谷田部交流センター図書室	1	17	6	2	-	-	26
荃崎交流センター図書室	1	5	3	1	1	-	11
★かとりだい交流館	8	1	-	-	-	-	9
研究学園小学校図書室	3	3	2	-	-	-	8
みどりの南小学校図書室	-	3	3	-	-	-	6
自動車図書館	1	-	3	1	-	-	5
利用していない	-	-	1	1	-	3	5
その他	-	-	2	-	-	-	2
無回答	-	-	-	-	-	1	1
総計	93	185	122	57	16	5	478

iv. 図書館・図書室の利用頻度

図書館及び図書室等の施設の利用頻度は、「月2～3回」の回答が最も多く、478人のうち約半数が選択している(図)。通常、資料の貸出期間が2週間であることを考慮すると、月2～3回程度が標準的な頻度であると言える。月2～3回以上の頻度で来館している回答者は多く、全体の8割を超えている。

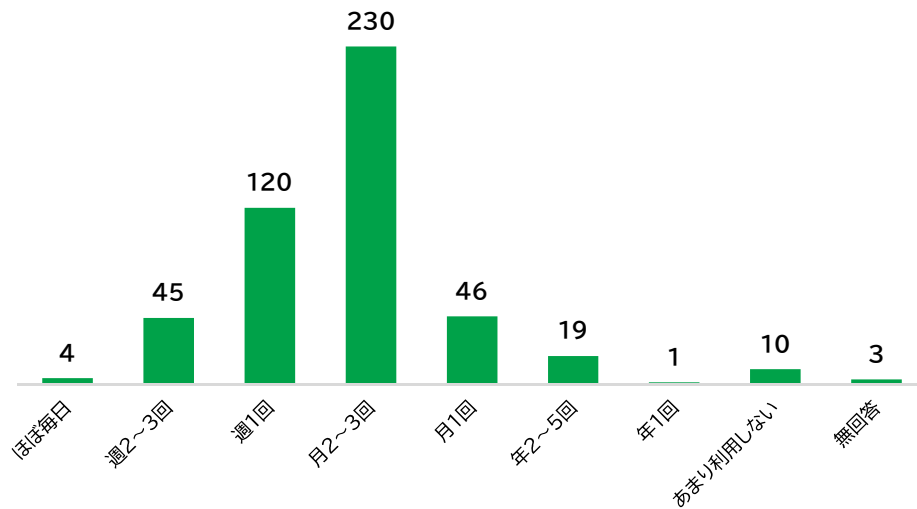


図 6 図書館・図書室の利用頻度(人)

一方、インターネットでの回答者を対象に「図書館や図書室を利用しない理由」について回答を求めたところ、下記の回答が得られた。

- 図書館が家から遠いから
- 夜に開館していないから
- 本が探しやすい、高いところの本が取りづらいから
- 蔵書が少ないから、書架に魅力がないから
- 電子図書館で読書できるから
- 駐車場が遠くて不便だから(中央図書館)
- 施設が老朽化していてきれいでないから
- 静かすぎて苦手だから(BGM が欲しい)
- 子どもが騒いでしまうためゆっくり滞在できないから(予約本受取窓口を利用している)
- 閲覧席が混んでいるから、落ち着ける座席がないから

v. 図書館に関する情報収集方法(複数回答)

図書館ホームページ(HP)が最も多く、回答者478人のうち6割が選択している。一方、「どこからも情報を得ていない」と回答した人は、478人のうち約15%に上っている。また、「その他」として、貸出窓口で職員から情報を得る、との回答が6件あった。

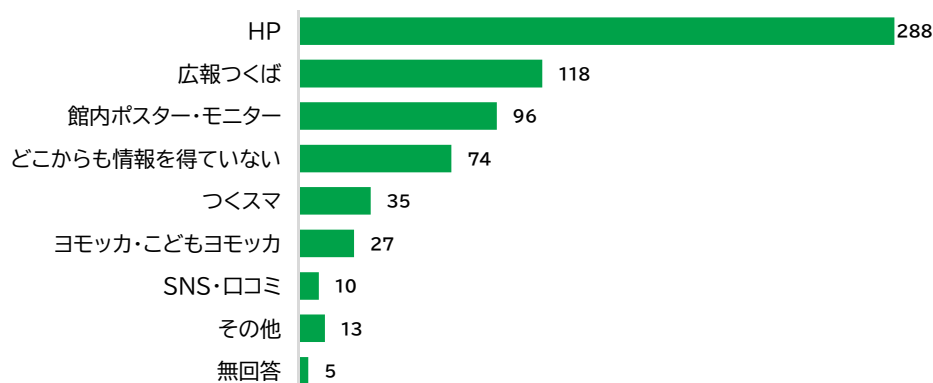


図 7 図書館に関する情報収集方法(人)

(4) 各サービスに対する満足度

10項目に対する満足度を「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「わからない」で評価していただいた。結果は、次ページの図のとおりである。また、下記の項目で特徴的な結果が得られた。「不満」「やや不満」「わからない」の割合が高い項目については、今後改善に取り組む必要がある。

満足度が高い項目
(「満足」「やや満足」70%以上)

- ① スタッフの対応(窓口・電話等)
- ③ 開館時間・開館日数
- ⑤ 館内の過ごしやすさ
- ⑦ 館内の案内表示

満足度が低い項目
(「不満」「やや不満」30%以上)

- ④ 所蔵資料の数・種類

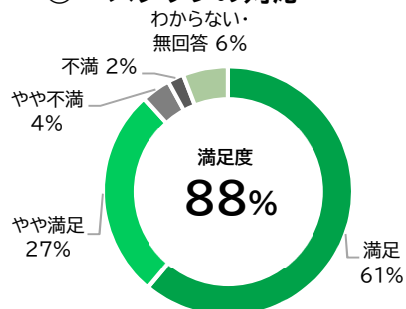
知名度が低い・利用されていない項目
(「わからない」及び無回答40%以上)

- ② 調べもの(レファレンスサービス)
- ⑩ 電子図書館サービス

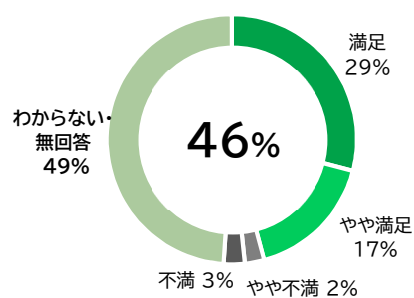
各サービスに関する満足度①～⑩

※「満足度」……「満足」「やや満足」の合計

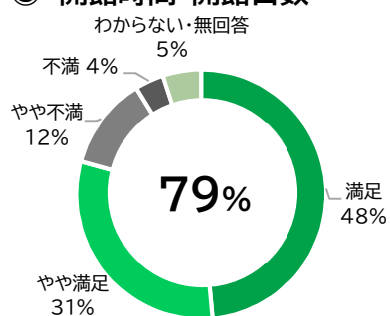
① スタッフの対応



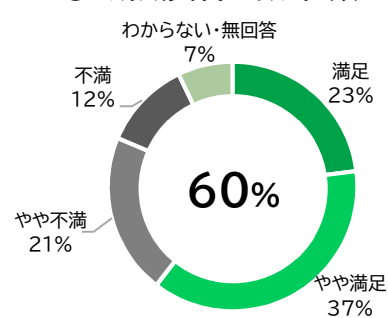
② 調べもの(レファレンスサービス)



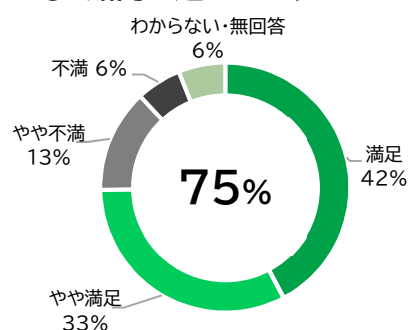
③ 開館時間・開館日数



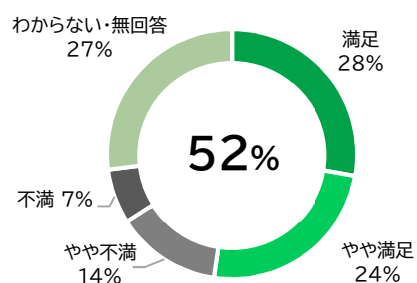
④ 所蔵資料の数・種類

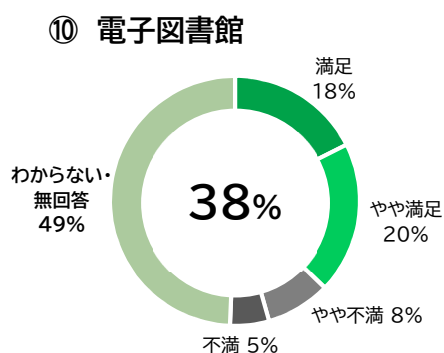
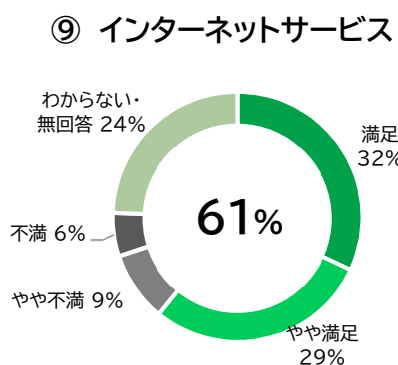
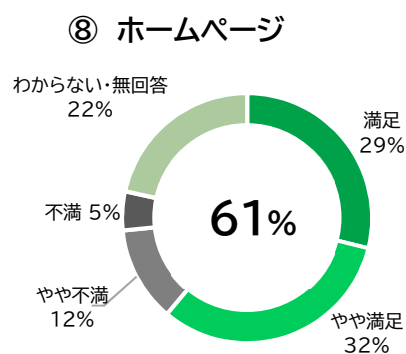
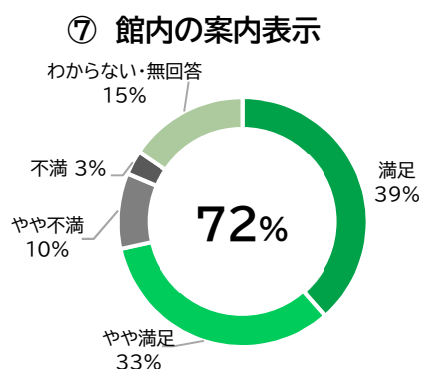


⑤ 館内の過ごしやすさ



⑥ 閲覧席・学習室





(5) 総合的な満足度

「満足」「やや満足」を合わせた満足度は8割を超えている。無回答17人を除くと、その割合は83%に上る。一方、「やや不満」「不満」と回答した計78人の意見や要望についても、できる限り意見を収集し、改善を図っていききたい。

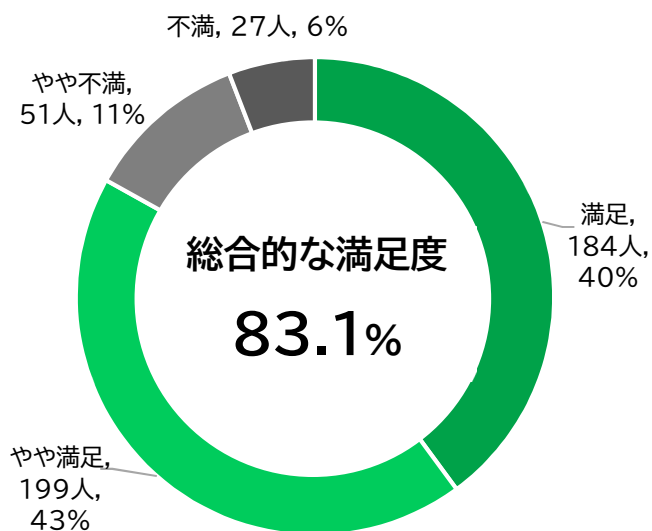


図 8 総合的な満足度(無回答を除く)

(6) 図書館への御意見(自由記述)

現在の図書館サービスへの感謝の言葉とともに、より一層の利便性向上や機能拡充を求める声が多数寄せられた。特にインターネットを通じた利便性向上、蔵書数の大幅な拡充と多様化、そして駐車場をはじめとする施設の改善に対する要望が多かった。詳細は次のとおりである。

1. サービスの利便性向上・システム改善に関する要望

・ インターネットサービスの使いやすさ向上

- お気に入り、予約、延長などの手続きをネット上でより簡単にできるようにしてほしい。
- ホームページからの蔵書検索機能の改善、キーワード検索の精度向上。
- WebOPAC 利用時の毎回ログインの不要化、ログイン状態の維持。
- 利用カードをつくスマアプリに登録する際に家族カード（特に子ども用）も登録できるようにしてほしい。
- インターネット上で利用カードの登録や更新をできるようにしてほしい。
- 貸出期間を過ぎてもネットで延長できるようにしてほしい。
- 読書履歴の Web 上での確認や印刷機能の導入（読書通帳）。

・ 予約・貸出返却・リクエストに関する要望

- 本のリクエストがインターネットからしづらい、又はできなくなったことへの不便さの訴え。
- 予約人数だけでなく受取館ごとの待ち人数も表示してほしい。予約資料を受け取るまでにどのくらい時間がかかるか確認したい。
- 漫画（コミック）、CD、DVD の予約や延長、リクエストができるようにしてほしい。
- CD、DVD を中央図書館以外でも貸出返却できるようにしてほしい。
- 発行年が古くても良書であれば購入してほしい。
- 予約できる本の冊数を増やしてほしい。
- 受取館に在庫がある本でも予約を受け付けてほしい（特に中央図書館）。

- 市内に本があれば取り寄せられるようにしてほしい（中央図書館にあっても、図書室にあっても市所有の本であることは変わらない）。
- 予約本の受取可能期間の延長、受取場所の増設。
- 貸出冊数の上限を増やしてほしい。
- 返却処理がシステムに反映されるまでの時間の短縮。
- 購読する雑誌に市民の意見を反映してほしい。
- 茨城県立図書館の資料の貸出返却を全館で可能にしてほしい。
- 牛久市の図書館とも連携してほしい。
- 市役所コミュニティ棟での返却処理の導入。
- **返却ポストの増設**
 - つくばエクスプレス（TX）沿線（つくば駅、研究学園駅、みどりの駅など）や商業施設（イーアスなど）に返却ポストを設置してほしい。
 - ドライブスルー形式の返却ポストの設置。

2. 資料の充実に関する要望

- **蔵書数の増加**
 - 全体的な蔵書数を増やしてほしいとの声が多数。特に人気のある本の予約待ち期間が長いため、在庫を増やしてほしい。
 - 予約が多数入っている新着図書は、1冊を館内閲覧専用として置いておいてほしい。
 - 子どもの本の冊数を増やしてほしい。
 - 漫画（コミック）の充実。
 - 英語の絵本、日本史の子供向けの本、シニア向けの本の増加。
 - IT 関連技術書、投資に関する本、学術書（大学参考書レベル）の充実。
- **電子図書館の充実**
 - 電子書籍の蔵書数を増やしてほしい。
 - 雑誌も電子書籍として借りられるようにしてほしい。

- 電子書籍のリクエストを受け付けてほしい。
- 電子図書館で本が探しづらい（読み上げ機能付きのものを探すなど）。
- 全集や地域資料の電子書籍化、オフラインでの閲覧機能。
- **蔵書・書架の改善**
 - 古い良書、専門書の廃棄方法や保管状況への懸念。
 - 床に近い本棚の改善。
 - シミや汚れのある本の買い替え。
 - 古い本の匂いについての意見。
 - 子どもの本の並べ方をタイトル順にするなど、探しやすさの改善。
 - 閉架書庫の本をできるだけ開架に出してほしい。
 - 中央図書館の開架書架の背表紙の整理。

3. 施設・設備、開館時間に関する要望

- **開館時間の延長・柔軟化**
 - 祝日の開館を求める声。
 - 開館時間を早めてほしい（8:00～8:30 希望）又は遅くまで開けてほしい（20:00～21:00 希望）。
 - 長期休館や月1回の休館日を減らしてほしい。
- **閲覧スペース・学習環境の改善**
 - 館内が狭い。
 - 閲覧席の増設（ソファではなく机と椅子を増やす）。
 - 閲覧席、学習室の2時間ルールの撤廃、自由化。
 - 静かな環境の維持（子どもの声を気にしないでもいいような環境整備）。
 - YA コーナーを作してほしい。
 - 館内の雰囲気（暗い、不潔感）の改善、照明の明るさ向上。

- **駐車場の改善**
 - 駐車場が遠い、有料、狭いことへの不満が多数。
 - 図書館に隣接した無料駐車場の設置を求める声が多数。
 - 駐車時間の延長（2時間では短い）。
 - 雨の日も濡れないような配慮。
 - 駐輪場の照明の改善。
- **トイレのリフォーム・清潔さ向上**
 - 特に中央図書館のトイレについて、古さや清潔感、狭さ、除菌クリーナーの設置を求める声。
- **新しい図書館の建設**
 - 図書館の新設（豊里地区、みどりの地区、研究学園地区、人口が増えた地域）。
 - 新しい図書館建設検討の加速。
 - 理想の図書館について（土浦市立図書館、茨城県立図書館、金沢市の図書館、松代市、神栖市、さいたま市、韓国・アメリカ・カナダなど）。
- **その他施設・設備**
 - Wi-Fi 接続の安定化。
 - 館内スピーカーのノイズ修理。
 - 館内で使用できるかごやブックカートを置いてほしい。
 - 館内の空気が悪いため換気をしてほしい。
 - 用紙の記載台を設置してほしい。
 - 中庭の活用方法に関する意見（ウッドデッキ化への賛否）。
 - 自動車図書館の巡回場所における椅子の設置。
 - 居心地の良いカフェのような、おしゃれな内装が良い。

4. 職員の対応・運営に関する要望

- 職員対応の質

- 感謝の声が多い一方で、一部で冷たい対応や不親切な印象を受けたとの声。
- 職員の人件費に関する懸念（土日以外のスタッフ配置の最適化）。
- レファレンスコーナーに職員がいない、忙しそうで声をかけにくい。
- 破損本の弁償時の対応改善。
- 職員の名札に関する意見。
- 図書館職員の雇用形態（正規雇用、指定管理）への関心。

- 図書館間の連携・協力

- つくば市内の各館（中央図書館、交流センター図書室など）間での本の予約・取り寄せをよりスムーズにしてほしい。
- 他市（牛久市など）や県立図書館との共通利用カードや連携強化を求める声。
- 他館（県外、海外）の成功事例の視察に対する提言。

- 運営方針・情報公開

- 廃棄される本のリストや理由の公開。
- 新着資料の受入れ予定の公開。
- リサイクル本の提供の定期化と事前告知。

■ 市長公約事業 No. 84 「複合機能を持つ新たな図書館の整備検討」について

(1) 参加したい・実施してほしい取組(複数回答*)

新しい図書館施設について検討を進める上で、回答者自身が参加したい、又は実施してほしいと考える取組について回答いただいた。アンケート調査に対する要望が多いが、今回の調査における回答方法(アンケート用紙／インターネット)によって、希望するアンケートの手法が異なっていることがわかる(表8)。

* 本来複数回答であったが、インターネットによる回答では設問設定の不備により択一式となった。インターネットによる回答のうち、複数回答を希望とのことで自由記述欄に追記された2件を加算している。

表 8 回答方法ごとの「参加したい・実施してほしい取組」(人)

項目	令和7年度利用者満足度調査の回答方法		合計
	アンケート用紙	インターネット	
アンケート(インターネット)	47	211	258
アンケート(用紙配布・無作為郵送)	56	35	91
インターネット投票	23	33	56
シンポジウム	28	9	37
交流イベント	27	9	36
ワークショップ	20	10	30
その他	4	2	6
無回答	49	11	60

(2) 新しい図書館において、図書館以外にどのような機能があると良いか(自由記述)

全体として、新しい図書館は、単に本を借りる場所ではなく、「学び、働き、遊び、交流し、心身ともにリラックスできる、市民の生活に寄り添った複合的な拠点」となることが強く望まれている。特に、「居場所」としての機能を望む意見が多方面から強調されており、多様な世代がそれぞれのニーズに応じて利用できる、柔軟で開かれた空間設計が重要になると考えられる。

1. 多様な利用ニーズに応える学習・ワークスペース

・ 集中できる学習環境の拡充

「学生の学習スペース」「自習室の拡大」を求める声が非常に多く、特に「フリーWi-Fiの環境」や「電源」が完備された場所。

・ 多様な学習スタイルへの対応

- 従来の静寂を求める学習スペースとは別に、「パソコンを持ち込んでリモートワークや自習ができる環境」、「飲み物や小さな会話が可能なスペース」、「親子でタブレット学習や勉強サポートができる場所」といった、より柔軟な利用が可能な空間。
- コワーキングスペースや、市役所のフリースペースのような「市民に開かれたフリーワークスペース」。自宅や塾以外で気軽に利用できる居場所。

・ 長時間滞在への配慮

- 「お弁当も持ち込める食堂やコンビニ」の併設により、利用者が時間を気にせず滞在できる環境。

2. 子どもから高齢者まで、全世代が過ごせる「居場所」

・ 子どもの居場所・遊び場

- 「子どもが遊べる場所」「屋内プレイ広場」「ハイハイの赤ちゃんが使えるスペース」「未就学児用の小さい机や椅子」など、子どもがのびのびと過ごせる安全な空間。
- 「勉強スペースと別になっており、少し騒いでも親が静かにはと言わないでいられる場所」といった、活動的なスペースと静的なスペースの明確な分離が重要。
- 「見守りの方がいること」といった、子どもの安全確保への配慮も必要。
- 「幼稚園・保育所・小中学校内の図書室整備・拡充」を優先してほしいという、身近な場所での読書機会の提供を求める意見もあった。

・ 高齢者の居場所・交流

- 「高齢者の居場所」「高齢者施設」「病気コーナーに相談またはカフェスペース」など、高齢者が気軽に立ち寄れる、交流できる、あるいは相談できる場としての機能。

・ 全世代共通の居場所

- 「雨天時の憩いの場」「いつでも楽しめるワークショップを提案するエリア」など、災害時や日常的に多世代が交流し、安らげる空間としての役割。

3. 地域コミュニティを育む文化・交流・生活支援機能

● カフェ・飲食の充実

- 「カフェ併設」が最も多く、特に「飲食物がちゃんと美味しい、椅子の座り心地がよくてスペースがゆったりしている、自然光が入る、静か」といった質の高いカフェ体験への期待。

● 生涯学習・文化活動

- 「生涯学習など生活のなかの機能を併設」「ヨガなどの軽い運動や手仕事体験ができるスペースと企画」「ワークショップができる教室」など、市民の多様な学びや活動を支援する場としての機能。
- 「図書館司書体験(子ども向け、大人向け両方)」「おすすめ図書のビブリオバトル開催」といった、本とより深く関われるユニークな企画も提案されている。
- 「美術館の併設」「劇場」「楽器の演奏練習ができる交流センター」など、文化的な活動や鑑賞の機会を提供する場としての役割。

● 教員や学校との連携

- 「教員が学校の授業で使用する本を大量に貸出できる」といった、学校教育と連携した貸出サービスの要望。
※ 既に中央図書館においては、団体貸出サービスとして利用可能。

● 地域交流・情報共有

- 「地域交流や防災などに関する勉強会や情報共有できる場」など、市民が必要とする情報を得たり、スキルアップしたりする機会を提供する機能。

● 空間デザインへのこだわり

- 「那須塩原市図書館みるるのような、おしゃれな建築」や「TSITE、松本十帖のような本棚と読書コーナー」といった、空間デザインへのこだわりも示されている。

4. 利便性とアクセス性の向上

- 駐車場

- 「広い駐車場(無料)」「雨でも濡れない駐車場」など、アクセスしやすい駐車場の確保が改めて強く要望されている。

- 書店

- 図書館と書店を併設してほしいとの意見が多数寄せられた。

- 日常の用事との連携

- 「ついでに図書館にも行こう」という動機付けのため、「買い物や飲食休憩、医療施設など日常の用事をすませやすい場」と併設。

(3) 新しい図書館の整備場所(自由記述)

多岐にわたる意見が寄せられたが、中でも、交通の便が良い場所や駐車場が広く確保できる場所への要望が多かった。主要な意見は下記のとおり。

1. 整備を希望する場所

- TX 沿線駅周辺

特に万博記念公園駅周辺、みどりの駅周辺、研究学園駅周辺を挙げる声が多く見られた。これらの地域は人口が増加しており、利便性が高いとされている。

- 万博記念公園駅周辺

人口増加地域であり、寂しい現状を変えたいという意見もあった。

- みどりの駅周辺

子供の人口が多い地域であり、図書館が少ないためニーズが高いとされる。

- 研究学園駅周辺

人口が多い地域。既存の中央図書館へのアクセスが悪い。一方で、交通渋滞を懸念する声もあった。

- つくば駅周辺

現在の中央図書館がある場所の建替えやリニューアル、又は駅直結・駅ビル内など、よりアクセスしやすい場所を希望する意見が多かった。

- **市役所周辺**

駐車場が確保しやすく、アクセスが良い。

- **道の駅隣接**

新しく整備される道の駅の隣に図書館を併設してほしいという意見も複数あった。

- **周辺市街地・市内北部・市内南部・市内西部など**

つくば駅や研究学園地区に設備が集中している現状を踏まえ、市の中心部以外での整備を望む意見があった。

- 筑波地区
- 谷田部地区
- 大穂地区
- 流星台の子育て支援センター付近
- 陸上競技場付近
- 茗溪学園の跡地
- 並木
- 病院の付近
- 松代
- 香取台中学校建設予定地
- 上郷高校跡地
- 陣場
- 若森
- 桜

2. 整備場所選定に対する意見

具体的な整備場所だけでなく、どのような施設にしてほしいか、どのような条件を満たしてほしいかという点についても多くの意見があった。

- **駐車場**

「無料」「広い」「時間制限なし」「敷地内」など、駐車場の充実を求める意見が圧倒的に多く寄せられた。現在の図書館の駐車場が不便であるという声が多数あった。

- **交通アクセス**

「電車・バスとのアクセスが良い」「駅やバス停から徒歩圏内」「車以外でも行ける」など、公共交通機関での利便性を重視する意見が多い。

- **既存施設との連携・再利用**

現在の中央図書館の改築・リニューアルを望む声や、閉校になった校舎や旧官舎の再利用、ショッピングモールへの併設・隣接を提案する意見もあった。

- **地域分散**

「大きな施設を一か所に作るのではなく、各地域に分けて作るべき」「各交流センターに一つずつ欲しい」といった、地域ごとの利便性を考慮した分散配置を求める声があった。

(4) その他

上記自由記述の欄において、図書館に関する多様なご意見を頂戴した。

- **図書館の必要性・機能に関する意見**

- 「必要ない」「構想自体再検討すべし」という意見や、「図書館に来る時代ではなくなる」「電子書籍が主流になる」といった、図書館の役割そのものに対する疑問の声。

- 「読書人口が10万人ぐらいと書いてあることが複数ある」「決まった人しか利用しない施設」といった、利用者の実態に関する言及。
- 防災施設との併設や、避難所としての活用、本がメンタルケアに繋がる可能性について触れた意見。

- **既存施設の運営・改善に関する意見**

- 「既存の図書館でやってほしい」「既存の図書館、図書室は今のままで運営を続けてほしい」という意見。
- 「各地区にあるといい。土・日に認知症サポーター養成講座を図書館でも開催してほしい」「学区で図書館があるので地域交流のイベントを開催してほしい。高齢になっても地域との関わりがある地域になってほしい」など、図書館が地域交流の拠点となることへの期待。
- 郊外の交流センター図書室の充実や維持を求める声もあり、特に「図書の種類・数が少ない」「建物・設備が老朽化している」といった現状への課題意識。

新図書館整備検討に関する簡易アンケート調査結果報告

1 目的及び概要

市長公約事業 No. 84「複合機能を持つ新たな図書館の整備検討」の参考情報として市民意見を収集するため、つくばフェスティバル（つくばセンター広場及び大清水公園で開催）及び当館主催イベント「ライブラリーピクニック」の開催にあわせて、中央図書館来館者、イベント来場者及び付近の通行者を対象に新たな図書館について広く意見を募集した。

2 実施日時・場所

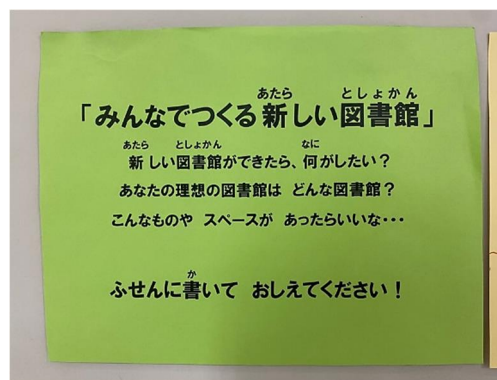
日時	場所	備考
5月16日（金）17:00 ～17日（土）22:00 ごろ	中央図書館入口自動ドア前 （文化会館アルス1階エントランス）	※職員の立会いなし ※雨天
5月18日（日） 10:00～15:00	文化会館アルス屋外展示場	

3 実施内容

（1）台紙



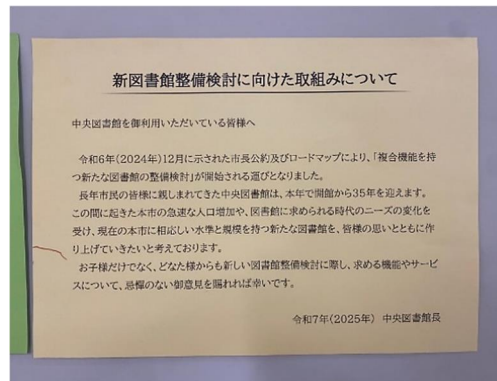
（2）掲示物①



（3）中央図書館入口前（16日・17日）



（4）掲示物②（17日追加）



(5) 文化会館アルス屋外展示場(18日)



(6) 終了後(18日)



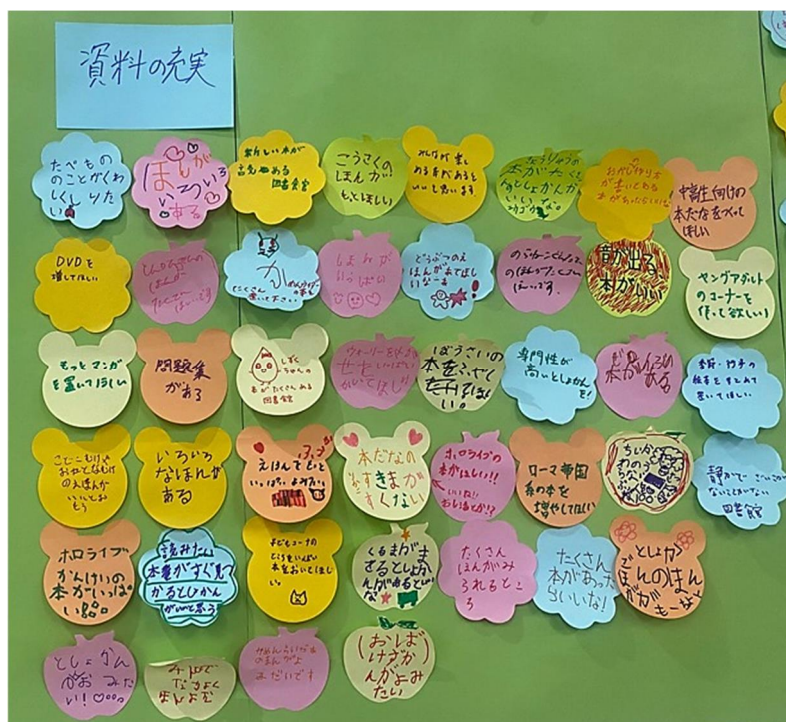
4 結果

合計 170 件の意見が寄せられた。特に「資料の充実」「くつろぎ」「カフェ・飲食可」に関する意見が多かった。

子どもによる意見が非常に多く、実施場所による回答者層の偏りが感じられた。中央図書館やその周辺を訪れる子どもの多さは、新図書館を検討する上でも重要になると考えられる。

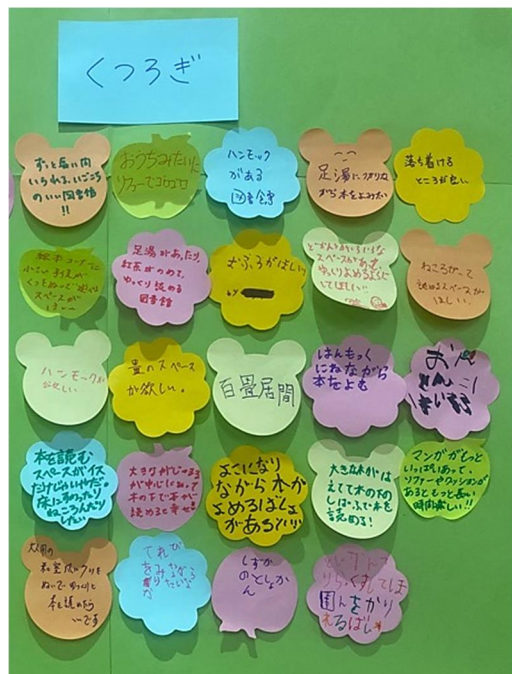
(1) 資料の充実 (43 枚)

特定の種類やテーマの図書を要望する声が多い。また、中高生向けのコーナーを要望する声もあった。



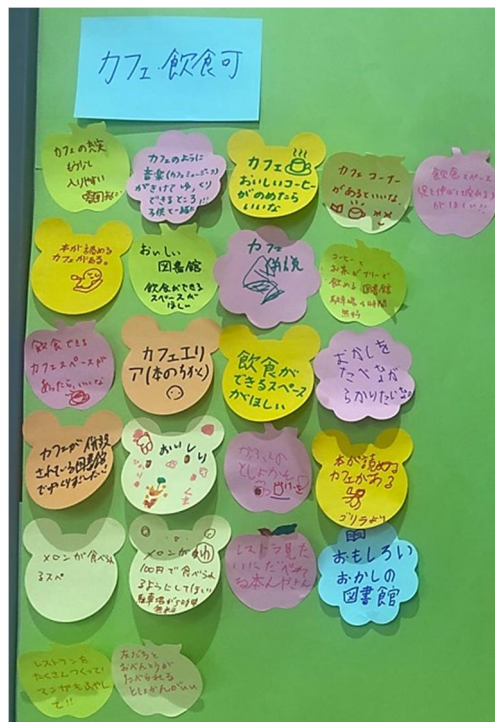
(2) くつろぎ (24 枚)

居住空間のようにリラックスして、長時間滞在できる空間を求める声が多い。



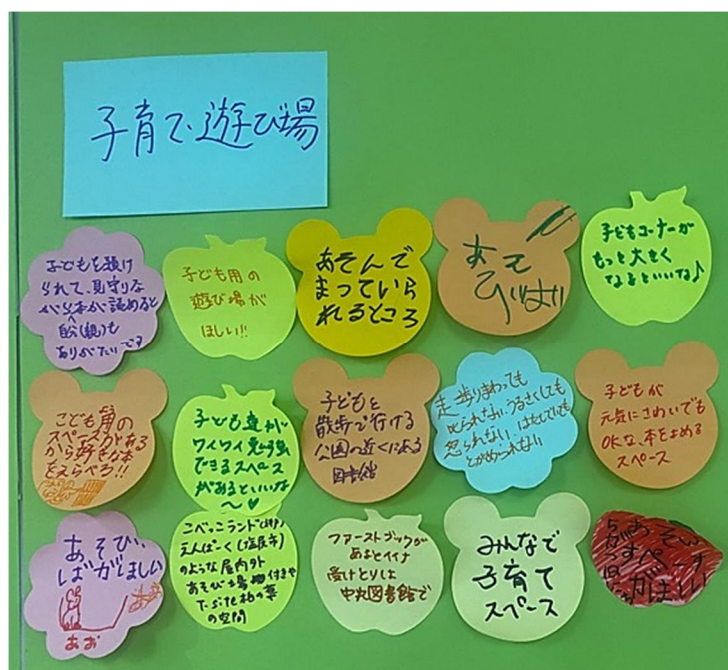
(3) カフェ・飲食可 (23 枚)

カフェを利用しながら本を読みたいという声が多い。

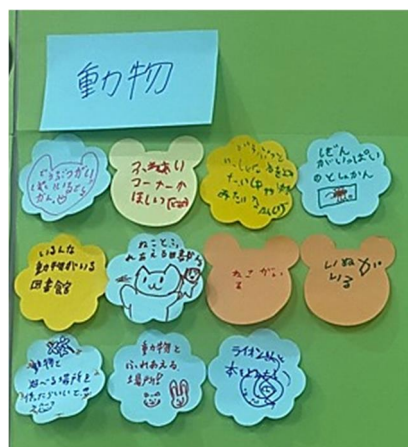


(4) 子育て・遊び場 (15 枚)

親子で一緒に訪れやすい環境を求める声が多い。



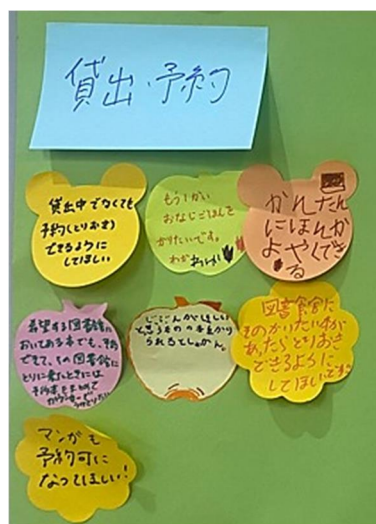
(5) 動物 (11 枚)



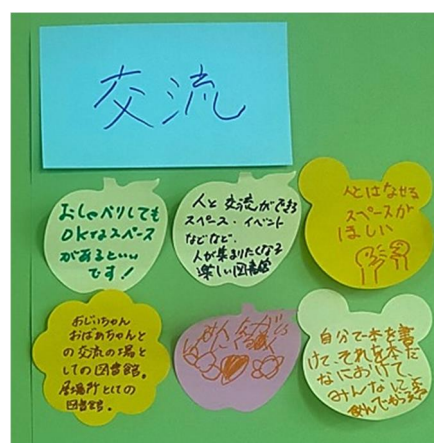
(6) 駐車場 (9 枚)



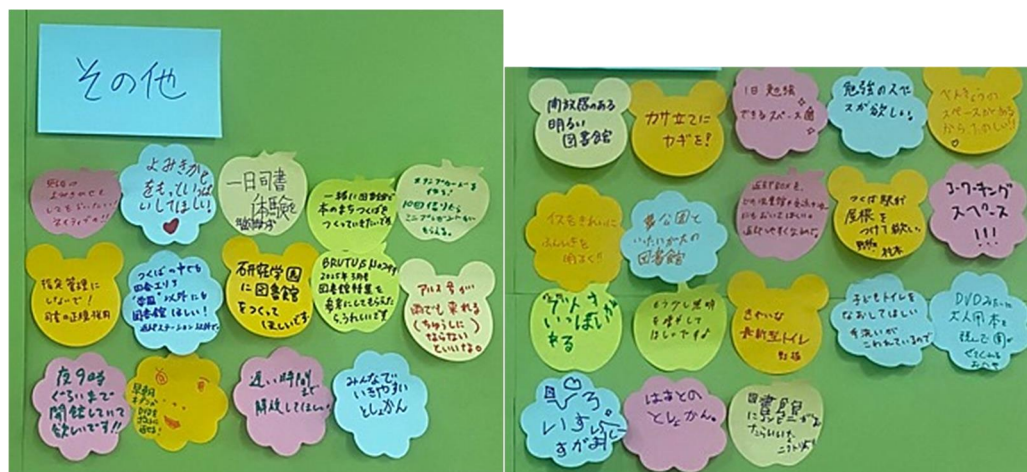
(7) 貸出・予約 (7 枚)



(8) 交流 (6枚)



(9) その他 (32 枚)



先進事例視察報告書

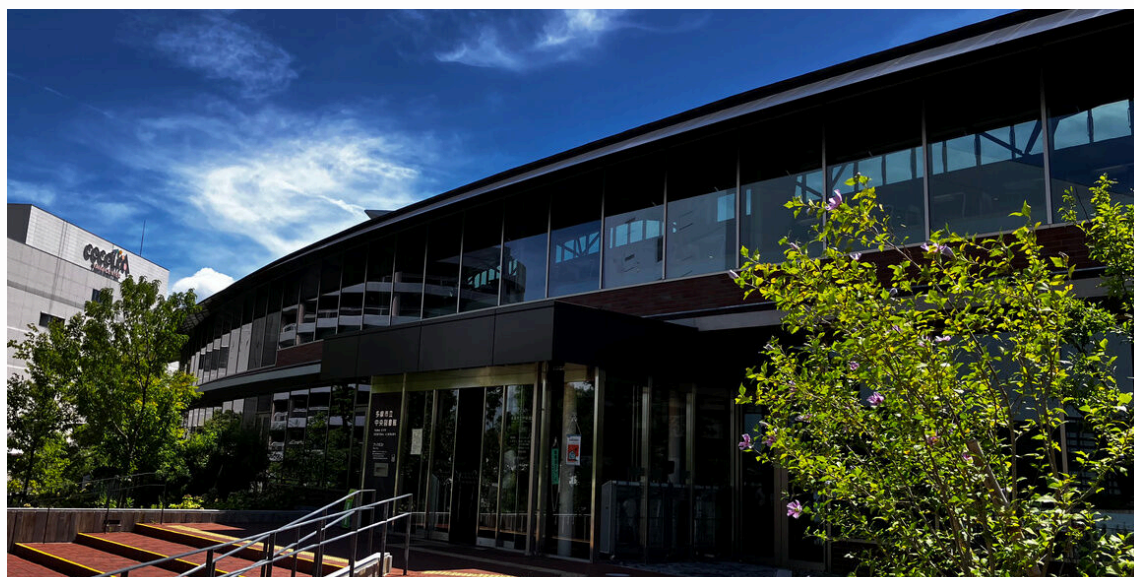
訪問者：中央図書館長ほか 計4名
視察日時：2025年7月18日（金曜日）

訪問先：多摩市立中央図書館（東京都多摩市）

ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス（東京都武蔵野市）

令和7年度の重点目標の一つ「複合機能を持つ新たな図書館の整備検討」項目の先進事例調査の一環として、上記2館の視察を行った要旨を報告する。

①多摩市立中央図書館（東京都多摩市）



多摩市立中央図書館外観（2023年（令和5年）7月1日開館）

多摩市立中央図書館は、都市公園（多摩中央公園）内に建設された公園一体型の図書館であり、地上2階、地下2階建ての4階層構造となっている。一般の開架・閲覧室部分を地上部分に、閉架書庫・事務室・搬出入通路等のバックヤード機能を地下階部分に集約した機能的な造りが特徴。また、高低差を利用した温熱環境の安定、高断熱ガラスや太陽光発電設備を採用した環境に配慮した施設として知られており、都内唯一ZEB（Net Zero Energy Building：快適な室内環境を保ちながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物）認証の一つであるZEB Readyを取得している図書館である。

機能的な構造のほか、静寂を重視した1階フロアと開放感溢れる2階フロアの棲み分け、子どもと保護者が同じフロアで本を選ぶことができるように配慮された特殊な配架（児童書コーナーと旅行書、料理等の暮らしに身近な分野の一般書や雑誌が同一フロアに配架）の採用等、図書館建設構想策定段階から現場の図書館職員が積極的に関与したことで、現代に相応しい滞在型図書館が具現化されている。

2016年（平成28年）6月に基本構想に着手し、2018年（平成30年）基本計画、2019年（平成31年）基本・実施設計、2021年（令和3年）建設工事等を経て2023年（令和5年）7月に開館した。設計は佐藤総合計画（業務委託料約1.6億円）、総工費は約45億円である。



イメージカラーで統一した館内図（2階）



公園に面した併設カフェ（2階）

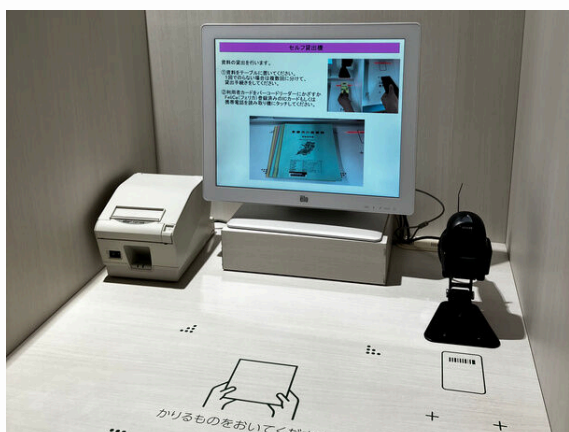


木目基調で温かな「広場系開架」（2階）



濃茶基調で静謐な「静寂系開架」（1階）

ソフト面ではICタグを貼付し、セルフ貸出機や返却機、予約本受取コーナーを設置する等の利便性を重視したICT活用のほか、車椅子専用座席やりんごの棚の設置等、全体的に多様性に配慮した造りが目立った。



ICタグ導入により実現したセルフ貸出機



予約受取コーナー（セルフ）

東京都多摩市

人口 148,751人
面積 21.01㎡
(令和7年4月1日現在)

多摩市立中央図書館

所在地 東京都多摩市落合2丁目35番地（多摩センター駅下車 徒歩約7分）
来館者数 854,098人（令和6年） / 延床面積 5,439㎡
蔵書数 441,479点（令和7年3月31日現在）

②ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス（東京都武蔵野市）



武蔵野プレイス外観（2011年（平成23年）7月9日開館）

ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイスは、図書館、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援の4機能一体型の複合施設として整備された施設であり、「ルーム」と呼ばれるユニットの集合体で構成された地上4階、地下3階建ての7階層構造となっている。また、図書館部分は地下2階から地上2階部分までと幅広く、2階では館独自のテーマ分類を採用したり、NDC分類による書架も親和性の高いフロアに配置（青少年フロアである地下2階に芸術系の資料を配架）したりする等、ソフト面でも独創性が高い。



外観と同じ丸い構造の「ルーム」で仕切られた館内

東京都武蔵野市

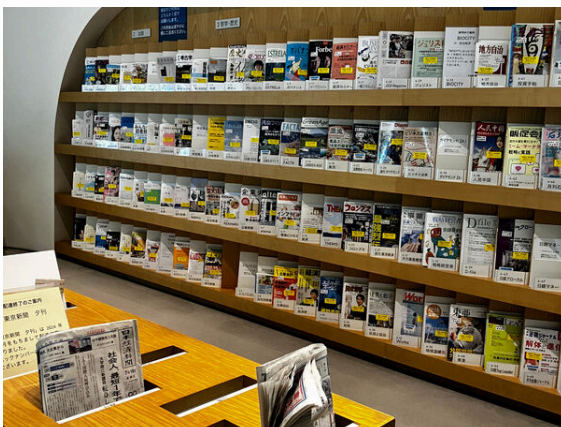
人口 148,285人
面積 10.98㎡
(令和7年4月1日現在)

ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス

所在地 東京都武蔵野市境南町2丁目3番18号（武蔵境駅下車 徒歩約1分）
来館者数 1,580,393人（令和5年度） / 延床面積 9,810㎡
蔵書数 181,350点（令和6年3月31日現在）



こどもライブラリー入口



新聞・雑誌コーナーも「ルーム」形状



ティーンズスタジオは20歳未満専用 自宅のように過ごすことができる（地下2階）

武蔵野プレイスの大きな特徴は青少年の居場所としての側面が強いことで、その一環として設けられた秘密基地さながらのティーンズスタジオは10代を中心に根強い人気を誇っている。また、多摩市と同様、複数台のセルフ貸出機や返却機、予約本受取コーナーを設置しており、利便性と省力化を重視したICT機器導入が目立つ。本市でも混雑緩和やプライバシーへの配慮のための同機器導入の要望は多く、利用状況や運用方法等について説明を受けた。



入口近くに設置された複数のセルフ貸出機



予約資料コーナー（セルフ）

図書館協議会委員及び中央図書館職員による先進事例の視察について（案）

1 目的及び概要

図書館協議会委員と中央図書館職員において「図書館」に対するイメージや情報を共有するため、共同で先進事例の視察を実施するもの。

2 実施予定時期

令和7年（2025年）10月～11月

3 候補地 ※つくばから車で訪問可能な範囲で選定

（1）真岡市複合交流拠点 monaca（栃木県真岡市）



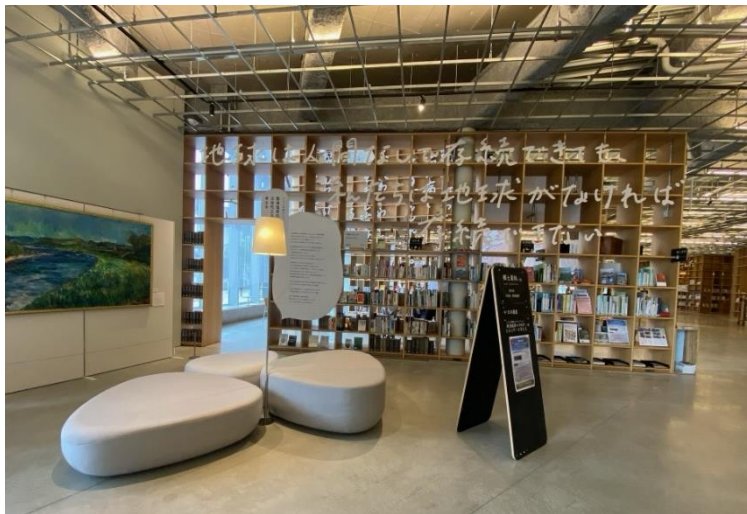
（中央図書館職員撮影）

（2）桜川市生涯学習センターさくらす（茨城県桜川市）



（中央図書館職員撮影）

(3) 那須塩原市図書館みるる (栃木県那須塩原市)



(中央図書館職員撮影)

(4) 大和市文化創造拠点シリウス (神奈川県大和市)



(中央図書館職員撮影)

4 候補地概要

No.	施設名・図書館名	片道所要時間 (分)	開館年	蔵書数 (万点)	複合・併設	費用
1	真岡市複合交流拠点 monaca	60	2025	20	子育て支援センター、 屋内外こども広場、 地域交流センター	見学ツアー (無料)、 その他責任者 による有料解 説ツアーあり
2	桜川市生涯学習センター さくらす	60	2025	7	生涯学習センター	
3	那須塩原市図書館みるる	150	2020	17	ギャラリー、結婚支援 センター	
4	大和市文化創造拠点シリ ウス	150	2016	49	芸術文化ホール、生 涯学習センター、屋内 こども広場 など	

5 (参考情報) 中央図書館職員による今後の視察候補地

No.	施設名・図書館名	所在地	開館年	蔵書数 (万点)	複合・併設
5	須賀川市民交流センタ ーtette	福島県須賀川市	2019	26	こどもセンター、ミュージアム
6	太田市美術館・図書館	群馬県太田市	2017	5	美術館
7	太田市エアリススペース	群馬県太田市	2025	18	保健センター、窓口センター
8	小千谷市ひと・まち・文 化共創拠点ホントカ。	新潟県小千谷市	2024	15	郷土資料館、子どもの遊び場
9	米百俵プレイスマライエ 長岡(互尊文庫)	新潟県長岡市	2023	4	イノベーションサロンなど(令 和8年度全館オープン予定)
10	みんなの森ぎふメディ アコスモス	岐阜県岐阜市	2015	58	市民活動センター、多文化交 流プラザ、コンビニ
11	小牧市中央図書館	愛知県小牧市	2021	30	
12	茨木市文化・子育て複 合施設おにクル	大阪府茨木市	2023	10	市民活動センター、ホール、 こども支援センター、屋内こ ども広場、プラネタリウム
13	塩尻市市民交流センタ ーえんぱーく	長野県塩尻市	2010	42	子育て支援センター、観光ブ ロモーション課商工課、ハロ ーワーク、民間オフィスなど
14	ミライ on 図書館	長崎県大村市	2019	140	県立・市立図書館による複合

つくば市立中央図書館35年展

WHERE TIME STANDS STILL

記憶の中の、図書館へ

8.23 [SAT]

8.24 [SUN]

OPEN 12:00—17:00

まつりつくば 中央公園会場

主催 つくば市立中央図書館

茨城県つくば市吾妻二丁目8番地

tel. 029-856-4311

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/library/>



問題は1面に掲載しています。

【第1問】 答え **バリ山行**

松永 K三蔵//著 講談社 背ラベル ▶ **マツナ**

このおはなしは…

これまで会社の付き合いを避けてきた主人公の波多(はた)は、社内の登山イベントをきっかけに山の魅力を知り、定期的に同僚たちとの登山を楽しんでいた。ある時、ベテラン職員の妻鹿(めが)が登山道ではないルートで山に登っていることを知り、波多の心は変化していく。

読んでみました！

登山中の細かい描写が美しく、まるで自分もそこにいるような気持ちになりました。物語の中で重要人物となる妻鹿は、変わり者に見えるけれど魅力的な人物。目が離せなくなります。



【第2問】 答え **ノラネコぐんだん**

エ藤 ノリコ//著 白泉社 背ラベル ▶ **エク**

このおはなしは…

おいしそうなパンに興味津々なノラネコぐんだん。ワンワンちゃんのパンこうじょうに忍びこみ、見よう見まねでパン作り。少々大胆なノラネコぐんだんの、ハラハラ&笑っちゃうおはなし。

読んでみました！

1匹だけでもかわいいのに、8匹います「ノラネコぐんだん」。パンを作ろうと奮闘する姿にクスッと笑っちゃいました。ピックアップもあるので読み聞かせにもオススメ！



おたのしみ「本占い」

あなたの推し本との出会い方

※選択肢は一面右下にあります。好きなものを選んで、上下をひっくり返して見てね。



を選んであなた



を選んであなた

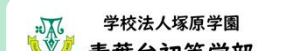
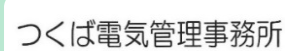
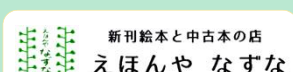
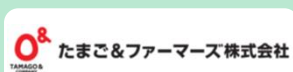


を選んであなた



雑誌スポンサー 随時募集中

図書館からつくばの教育を応援して下さる雑誌スポンサーの皆さまです 令和7年度 雑誌スポンサー(令和7年6月現在)



詳しくは図書館HPをご覧ください ▶



ヨモツカ yomocca

公園通りの図書館通信

2025 年(令和7年)8月発行 No.23

発行：つくば市立中央図書館

みなさんに
お知らせしたい！



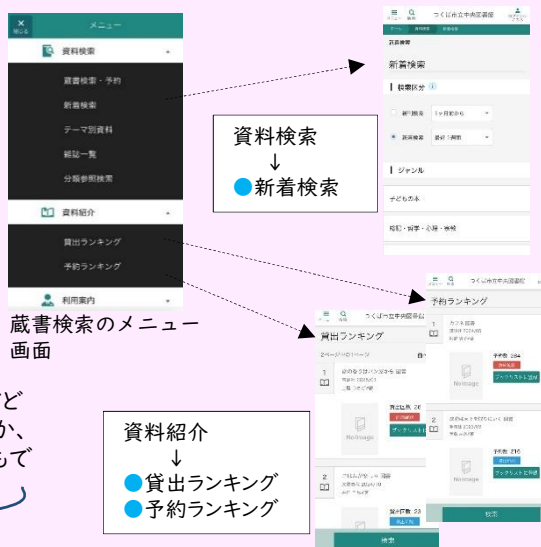
図書館員の Point 01

新着検索・貸出ランキング・予約ランキング

どんな本が図書館に新しく入ったか、ホームページの「新着検索」から見られます。

最近みんなどんな本読んでいるのかな……。そんな時は「貸出ランキング」や「予約ランキング」がお役に立ちそうです。

自分と年代の人がどんな本を読んでいるのか、年代で絞り込むこともできますよ。



図書館員のサービス

図書館員の Point 02

オビタン帯探

オビイさん登場



「帯」は書籍のカバーに巻かれるキャッチコピーなどが書いてある横長の紙です。図書館に新しく入った本の帯を綴じて、手に取って見ていただけるようにしました。



「帯探」は入口近くの展示コーナーの机に置いてあります。本選びの参考に、読書の息抜きにご活用ください。

Point 03

壁際の攻防

図書館の一番奥、壁際には読み応えのある本たちが勢ぞろい。図書館ならではの一面です。



詳しくは2面へ ▶

Point 04

りんごの棚？



2面へ ▶

Point 05

回転率ナンバーワン！



2面へ ▶

Point 06

名作ぞろい



3面へ ▶

Point 07

図書館走ってます



3面へ ▶

Point 08

やさしい読書



3面へ ▶

メモから読み解く

図書館クイズ 『お探しの本は？』

誰かが忘れていったメモ用紙。本の題名のようなものが書かれています。どんな本を探していたのでしょうか？ ※解答は4面にあります。

【例題】

ハンドバック 背ラベル イチカ

ヒント 第128回 芥川賞受賞作

【例題の答え】

ハンチバック 市川 沙央 / 著 文藝春秋

【第1問】

バリ三行 背ラベル マツナ

ヒント 第171回 芥川賞受賞作

【第2問】

どろぼうネコぐんだん パンこうじょう

ヒント 大人気 シリーズ絵本

こんな本はいかが？

おたのしみ「本占い」

テーマ：「推し本との出会い方」

推し 推し 推し

好きなアイテムを選んで4面へどうぞ。

みんなは知らないかもしれない…。
でも、知ってほしい！
そんな推しサービスを紹介します。

図書館員の推し

こんなサービス やってます



ここでは紹介しきれないこんなサービスも

図書館で役目を終えた本を市民の
皆さまに無料でお譲りしています。
図書館入口で不定期開催中。



書庫にもCD・DVDがあります。
職員にお尋ねください。

意外なもの そろってます！
ひそかに人気！落語CD
歌劇（ミュージカル）や
ドキュメンタリー、学問系の
DVDもあります。

季節の展示コーナー
8・9月は、
「夏～Summer～」

館内視聴ブースは
5か所あります。

図書館員のひとこと

視聴覚コーナーにあるCD・DVDは、
全て図書館員が装備しています。
最近は、面白い形状のCDも多く、
どのように装備すると貸出しやす
く、利用者に喜んでいただけるか
と日々悩みながらやっています！



図書館員の推し
Point
03

知って得する！ 壁際の特設コーナー

- 旅行ガイドなど様々な資料を
集めて別置しています
- 壁際には特別コーナーを設置
- 旅行ガイド
- コンピュータ
- 新書
- 東洋文庫
- 全集



▲ 入口を入り、中央カウンターを通り過ぎた一番奥に「旅行ガイド」の
別置コーナーがあります。また、左手に向かって「コンピュータ」「新書」
「全集」のコーナーがあります。



こちらは新書
コーナー。
「中央公論新書」
「岩波新書」
「講談社
ブルーバックス」が
あります。

【新書】
B6版より
やや小型で、
入門的教養
書やノンフィク
ションを収めた
叢書
出典：広辞苑第七版 新刊 2018



コンピュータ
関連資料もずらり。



▲ 所狭しと並ぶ全集コーナー。

中央カウンターを過ぎた突き当たりに
旅行ガイドが並んでいます。

図書館員の推し
Point
06

視聴覚コーナー

- 意外にたくさんあるんです
- 本と同じ2週間借りられます
- 館内で視聴もできます



新着コーナー
図書館へいらしたら
ぜひご覧ください。



図書館員の推し
Point
07

自動車図書館

- 新しく可愛い車両がお近くに参ります
- 市内60か所、3台でまわっています

今春、新しい車が
走り始めました！



春夏秋冬 四季のデザイン
こどもたちに大人気！



後部にはぶんちゃん、
フックン船長が仲良
く本を読んでいる様
子が。



図書館員のひとこと
屋外でゆっくり本
が選べます。
新しい本もたくさ
んのっています！

図書館員の推し
Point
08

大活字本・朗読CD



書庫にもあります。

読み返したいあの作品、
今どきの作家も。

耳から読書おすすりめです！
読みにくいと思ったら大活字



朗読CDは
視聴覚コーナ
ーにあり、
背にオレンジ
シールがつい
ています。

図書館員のひとこと

通勤しながら家事をしながら
スキマ時間に読書ができるの
で朗読CDおすすりめです！
又吉直樹の「火花」を
犬の散歩中に聞きました。



図書館員の推し
Point
04

りんごの棚



こどもコーナーに「りんごの棚」
があるんです



りんごの棚は色々な人が本を楽し
めるように作られたコーナーです。
こどもコーナーに
点字の本、
大活字本、
LLブック
などが
あります。

LLブックとはやさしい文章で
書かれた本です。絵の記号
(ピクトグラム)や写真で、
わかりやすくなっています。

図書館員の推し
Point
05

こどもコーナーの展示

季節やテーマで集めた絵本を
展示しています



季節の絵本を表紙が分かるように展示

こどもコーナーの窓際に季節に合わせた
絵本やあるテーマに合わせて集めた
絵本を展示しています。

図書館員のひとこと

小学校での読み聞かせをするとき
に、展示している季節の絵本から
よく選びます。夏には海の絵本
を読んだり、冬には雪の絵本を
読んだり、季節に合わせて
絵本を一目で選べるので便利。

